

第187期定時株主総会

目的事項

- 報告事項
1. 第187期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第187期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）計算書類報告の件
- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役12名選任の件
- 第3号議案 補欠監査役1名選任の件

平成22年6月25日

川崎重工業株式会社

報告事項

第187期 平成21年4月 1日から
平成22年3月31日まで

- **事業報告**
- **連結計算書類**
- **計算書類**

経営環境

国内

- 新興国による外需の増加に内需の底上げが加わり、景気回復の兆し
- 円高ドル安傾向の中、設備投資の低迷
- 雇用情勢や個人消費の落ち込みに改善なし



経営環境

国内

- 新興国による外需の増加に内需の底上げが加わり、景気回復の兆し
- 円高ドル安傾向の中、設備投資の低迷
- 雇用情勢や個人消費の落ち込みに改善なし



依然として厳しい状況



経営環境

海外

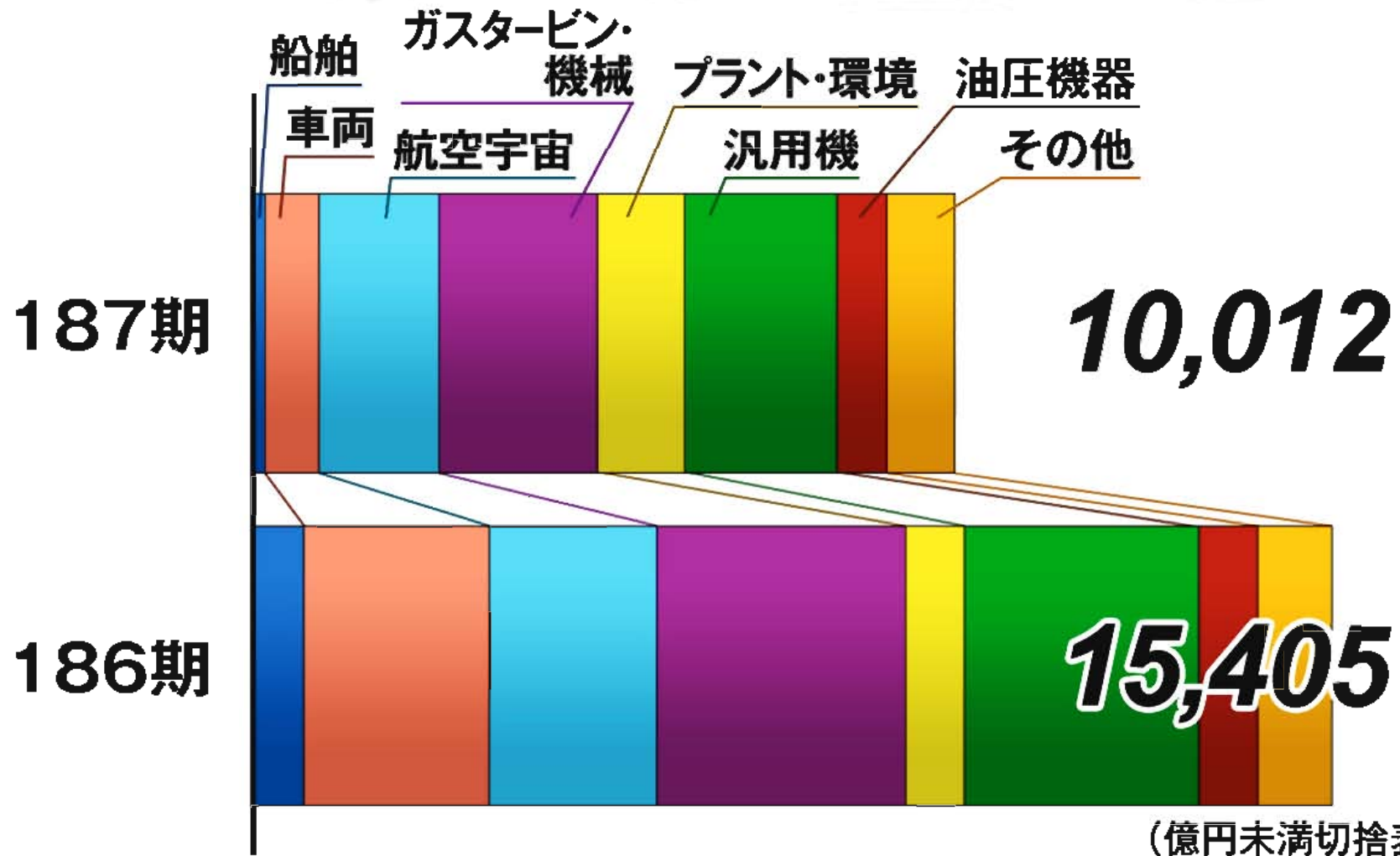
- 一部の新興国で成長の兆し
- 欧米諸国は穏やかな回復



受注高

単位:億円

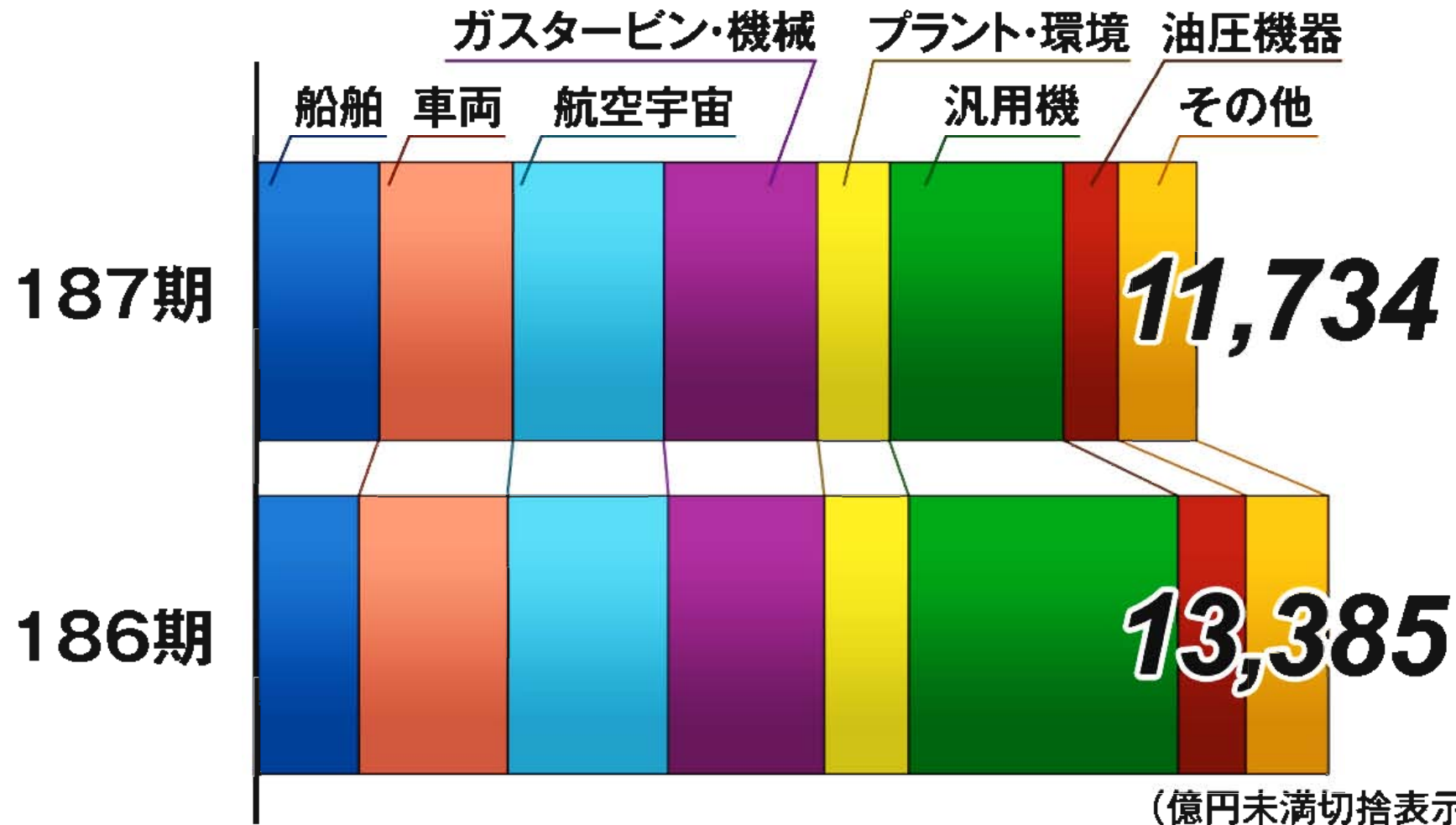
10,012億円(前年度比 35%減)



売上高

単位:億円

11,734億円(前年度比 12%減)



営業損益

単位:億円

187期



186期



287

経常利益

単位:億円

187期



186期

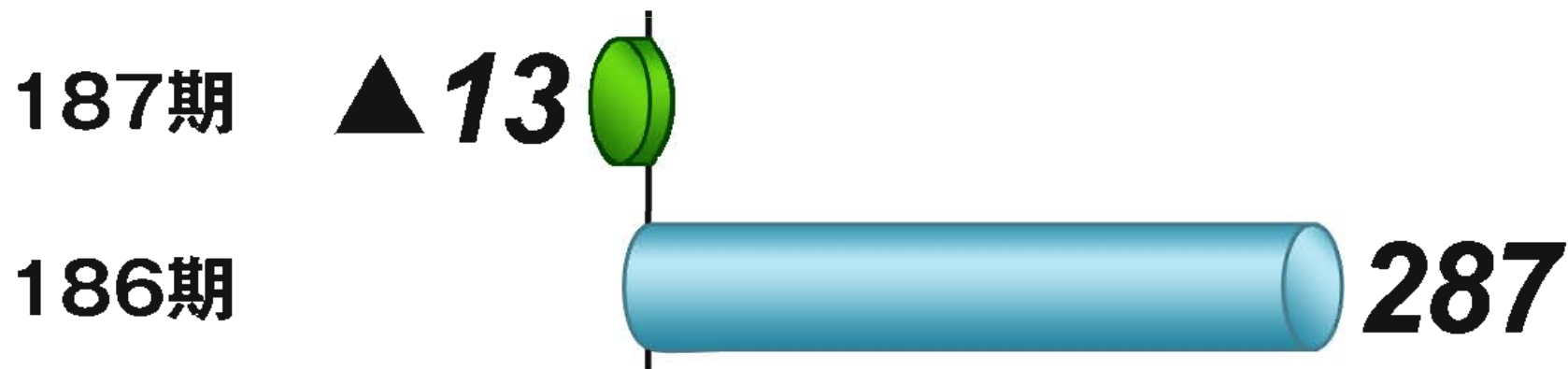


387

(億円未満切捨表示)

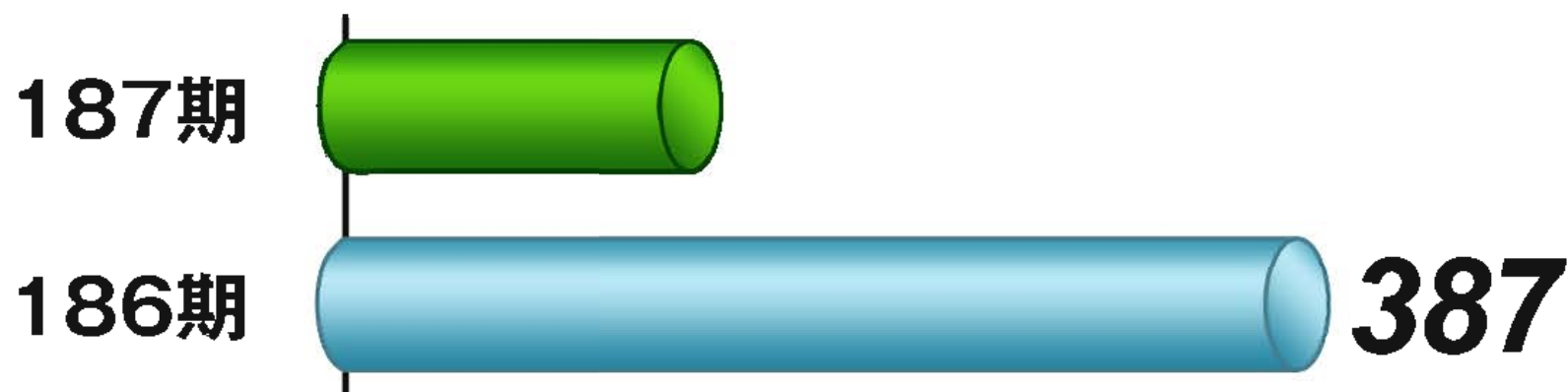
営業損益

単位:億円



経常利益

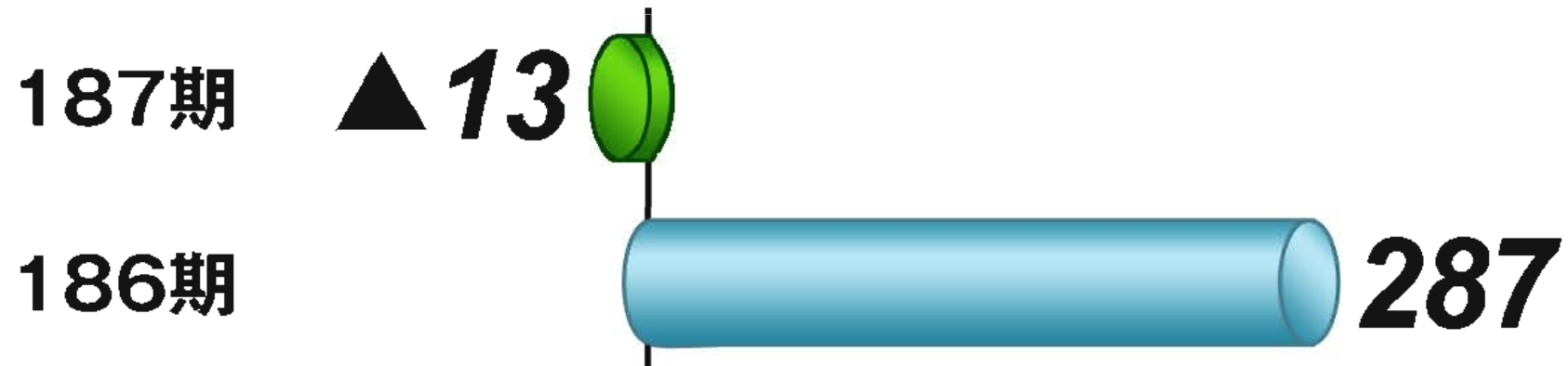
単位:億円



(億円未満切捨表示)

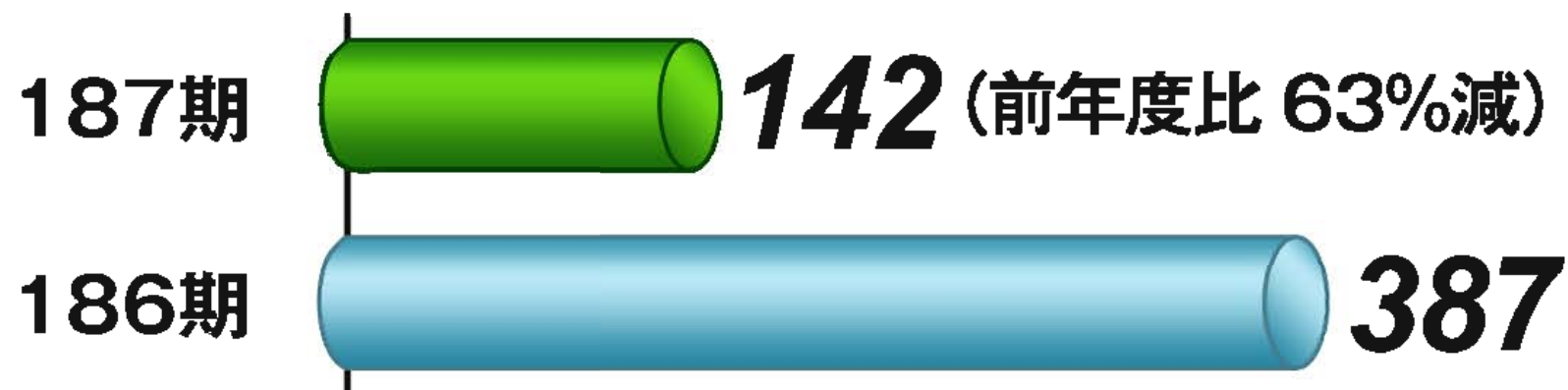
営業損益

単位:億円



経常利益

単位:億円



(億円未満切捨表示)

特別損益

特別損失

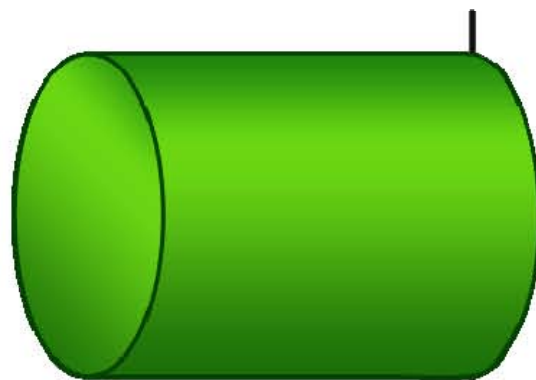
- ・事業構造改善費用
- ・訴訟損失引当金
- ・一部の連結子会社における固定資産の減損損失 など

196億円

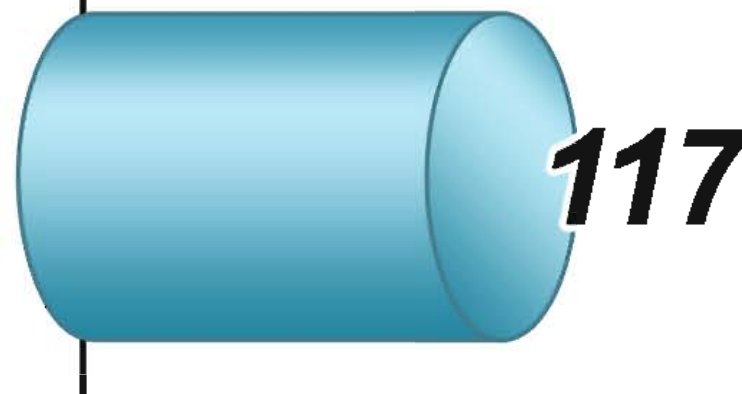
当期純損益

単位:億円

187期



186期



(億円未満切捨表示)

当期純損益

単位:億円

187期

▲ 108



186期

117



(億円未満切捨表示)

事業部門別の状況

船舶事業



船舶事業

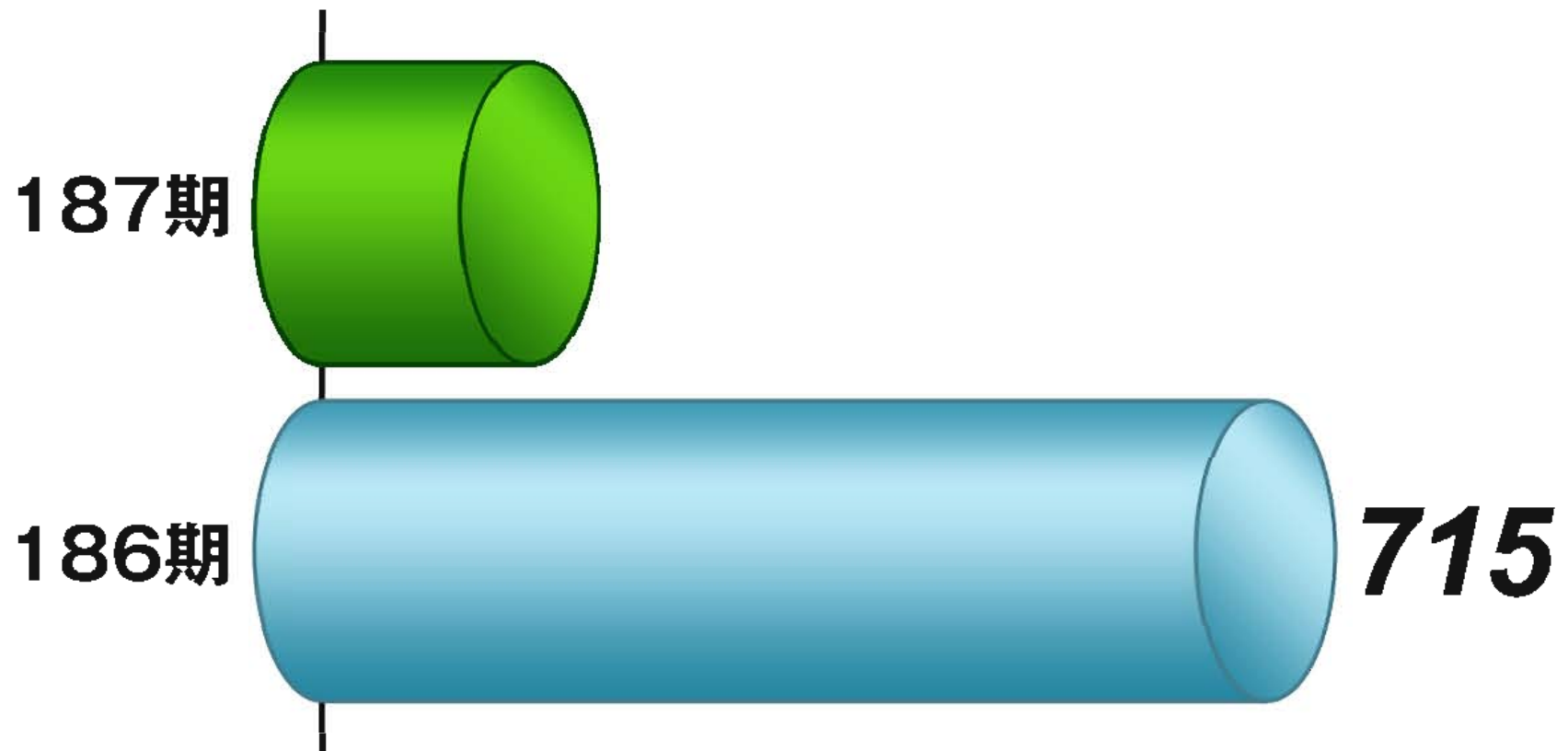
受注状況

- ・ 新造船が大幅に減少

船舶事業

単位:億円

受注高合計

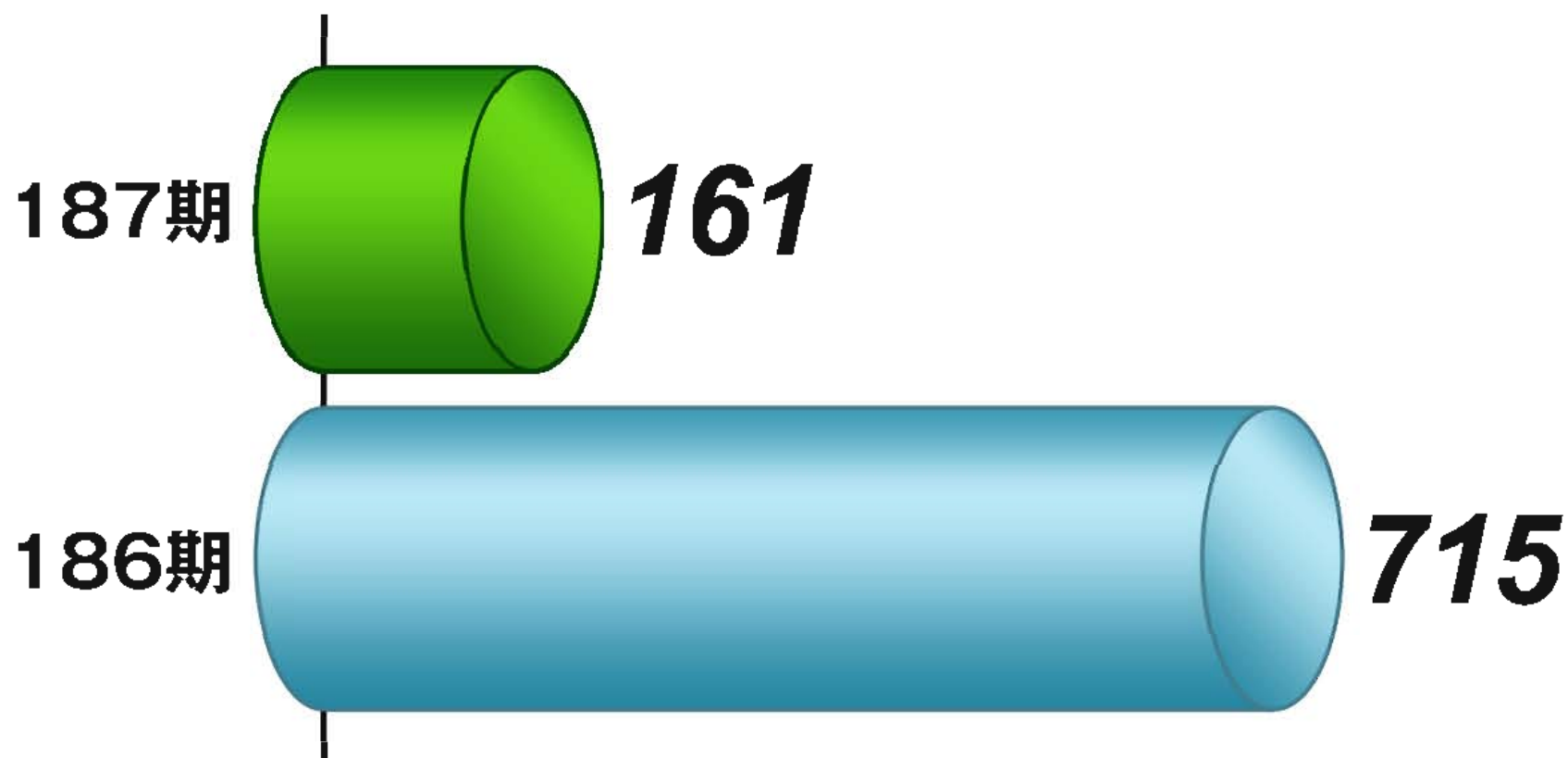


(億円未満切捨表示)

船舶事業

単位:億円

受注高合計



(億円未満切捨表示)

船舶事業

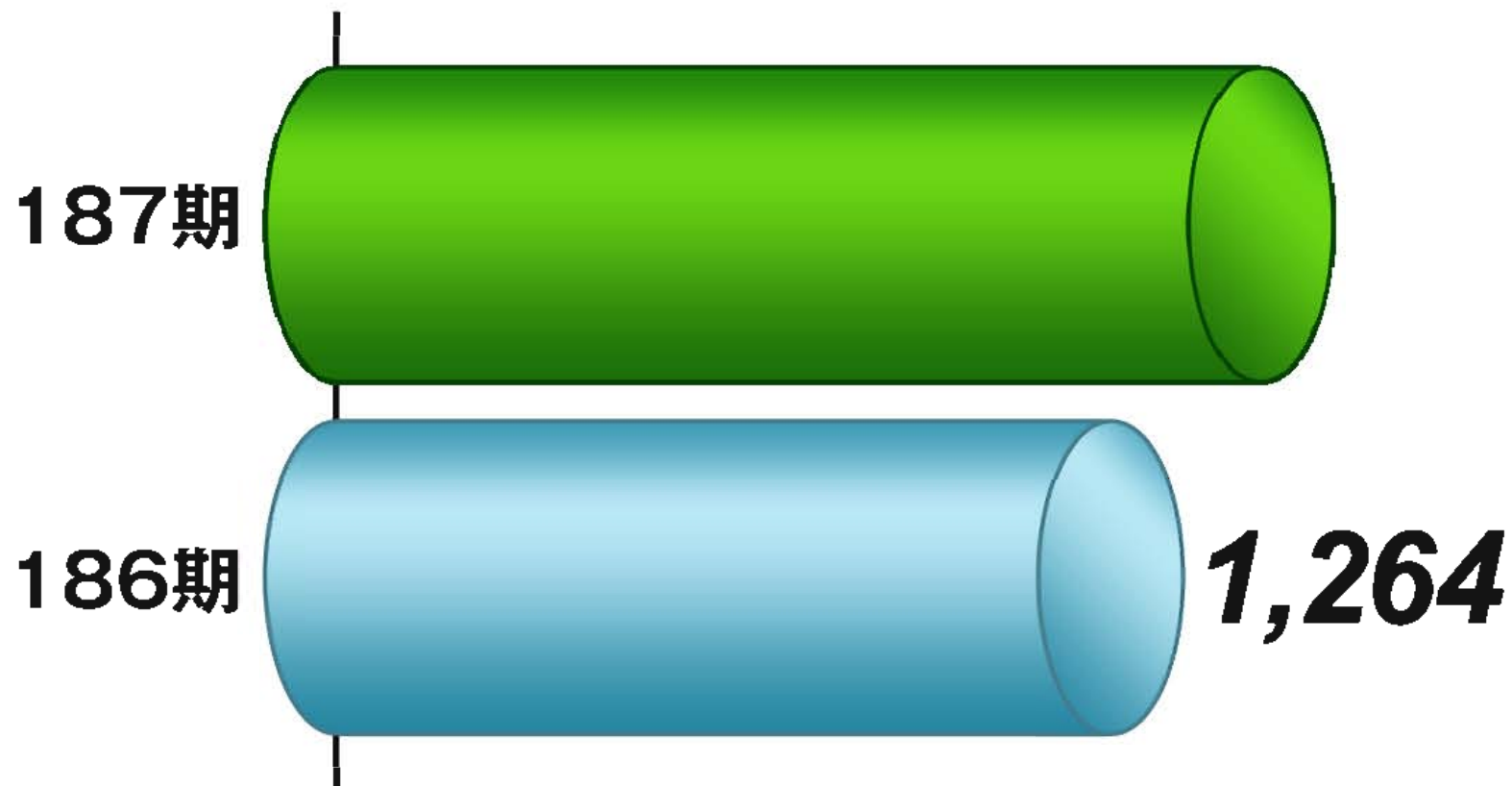
売上状況

- ・ 大型船が増加

船舶事業

単位:億円

売上高合計

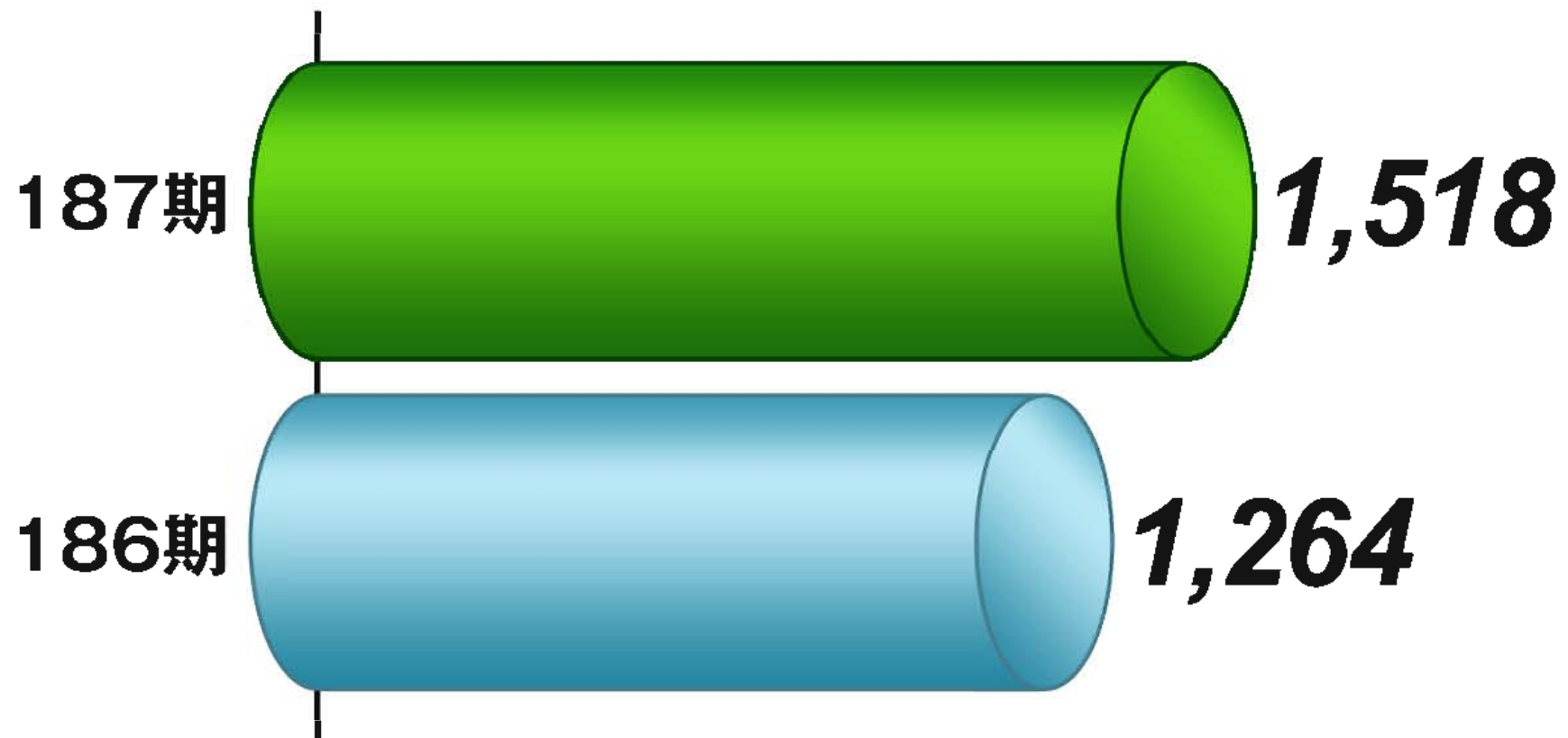


(億円未満切捨表示)

船舶事業

単位:億円

売上高合計



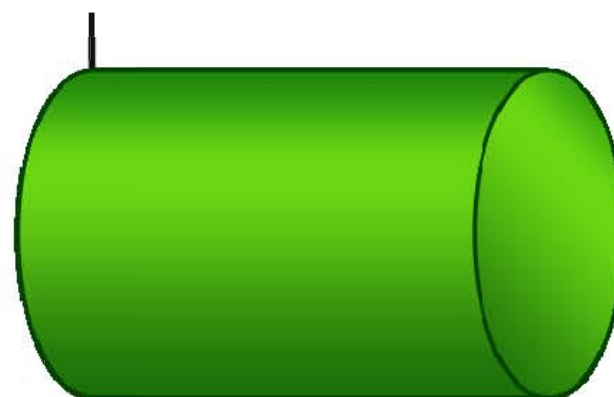
(億円未満切捨表示)

船舶事業

単位:億円

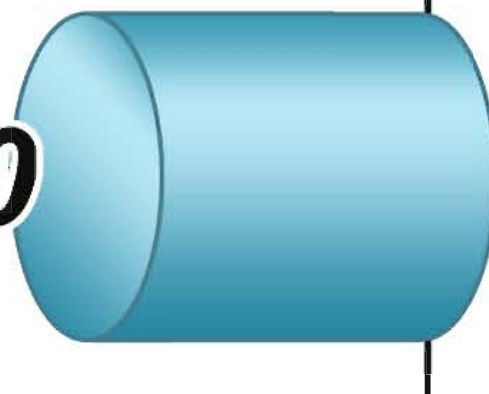
営業損益

187期



186期

▲ 10



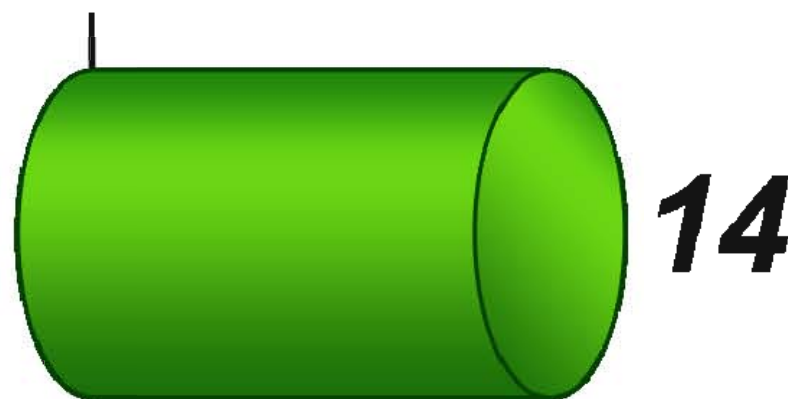
(億円未満切捨表示)

船舶事業

単位:億円

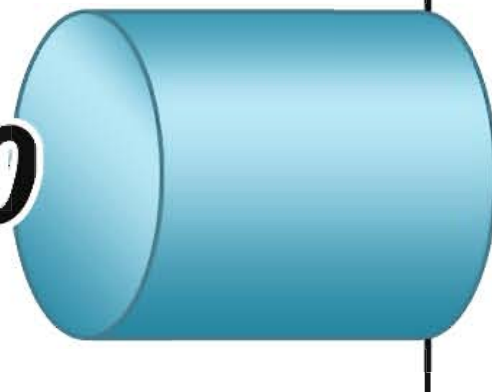
営業損益

187期



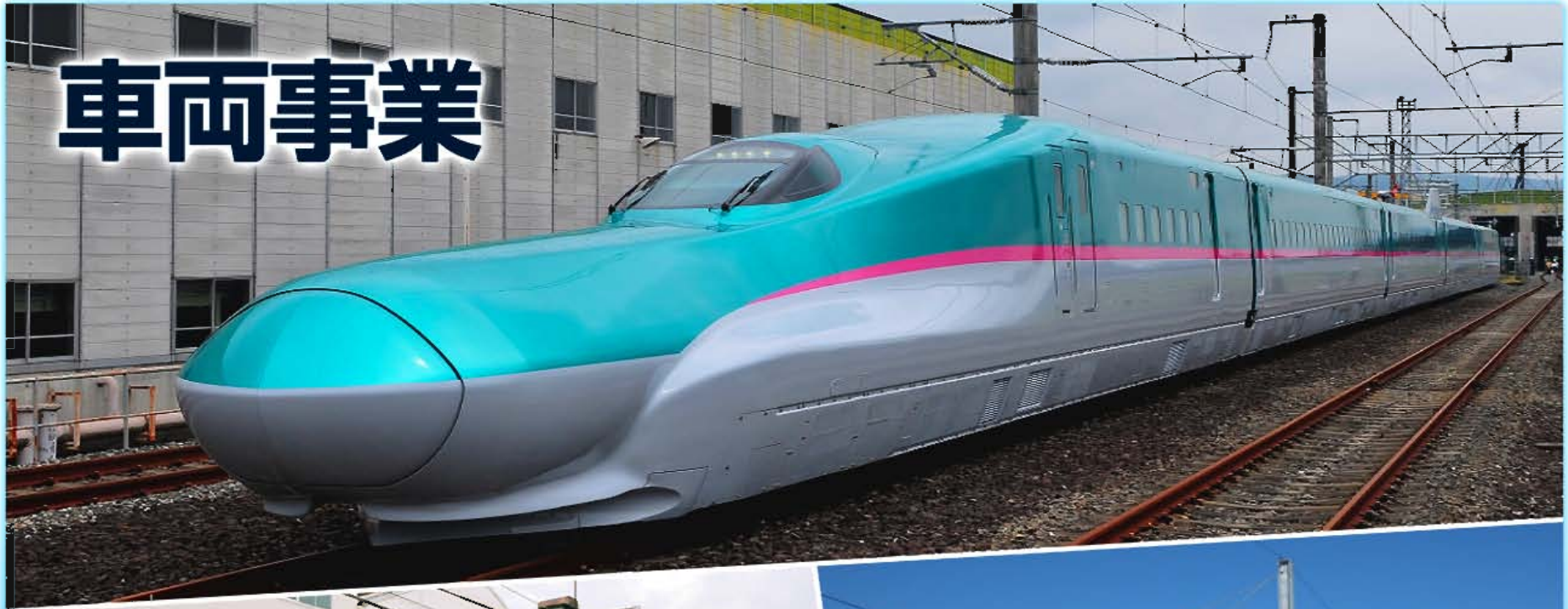
186期

▲ 10



(億円未満切捨表示)

車両事業



車両事業

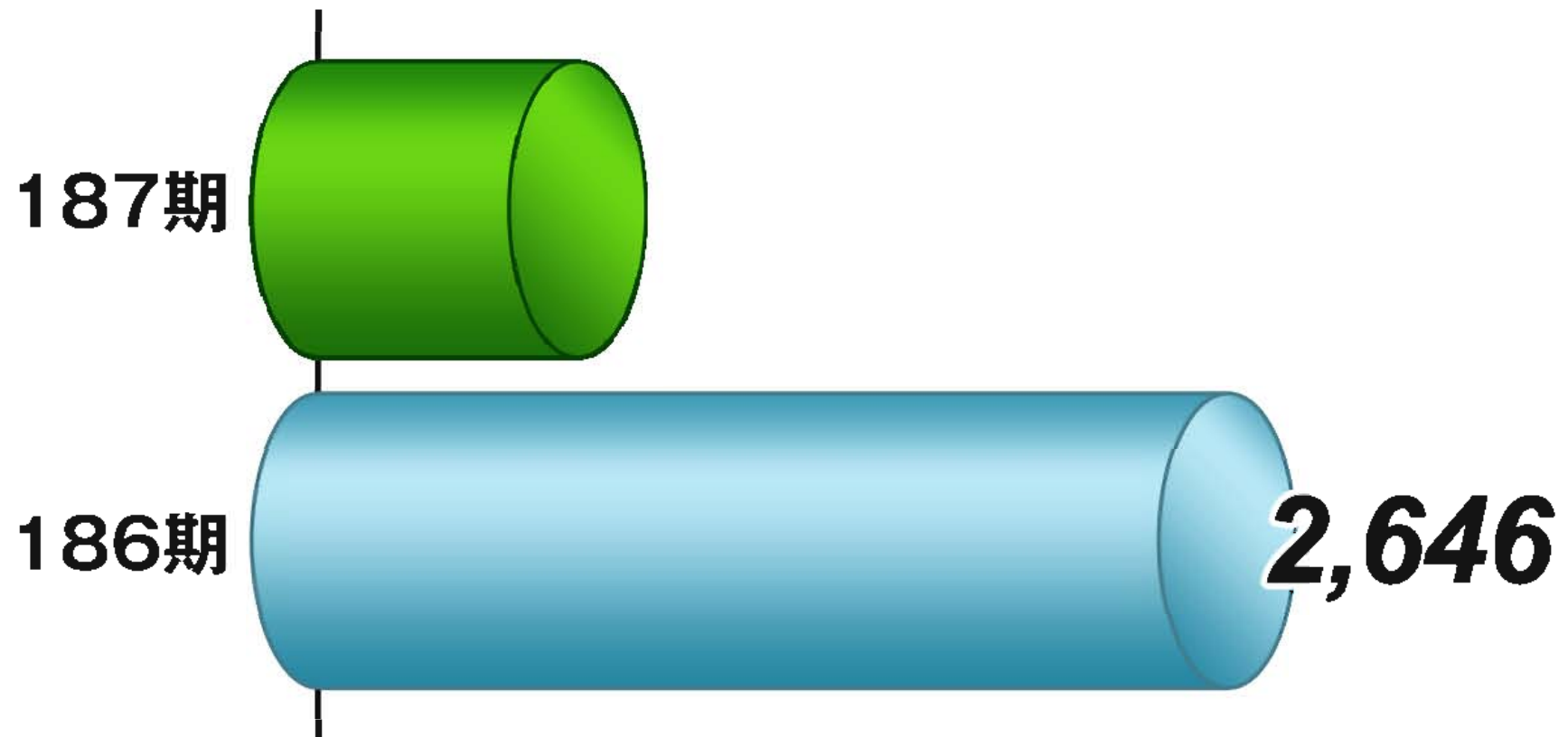
受注状況

- ・シンガポール向け地下鉄電車など

車両事業

単位:億円

受注高合計

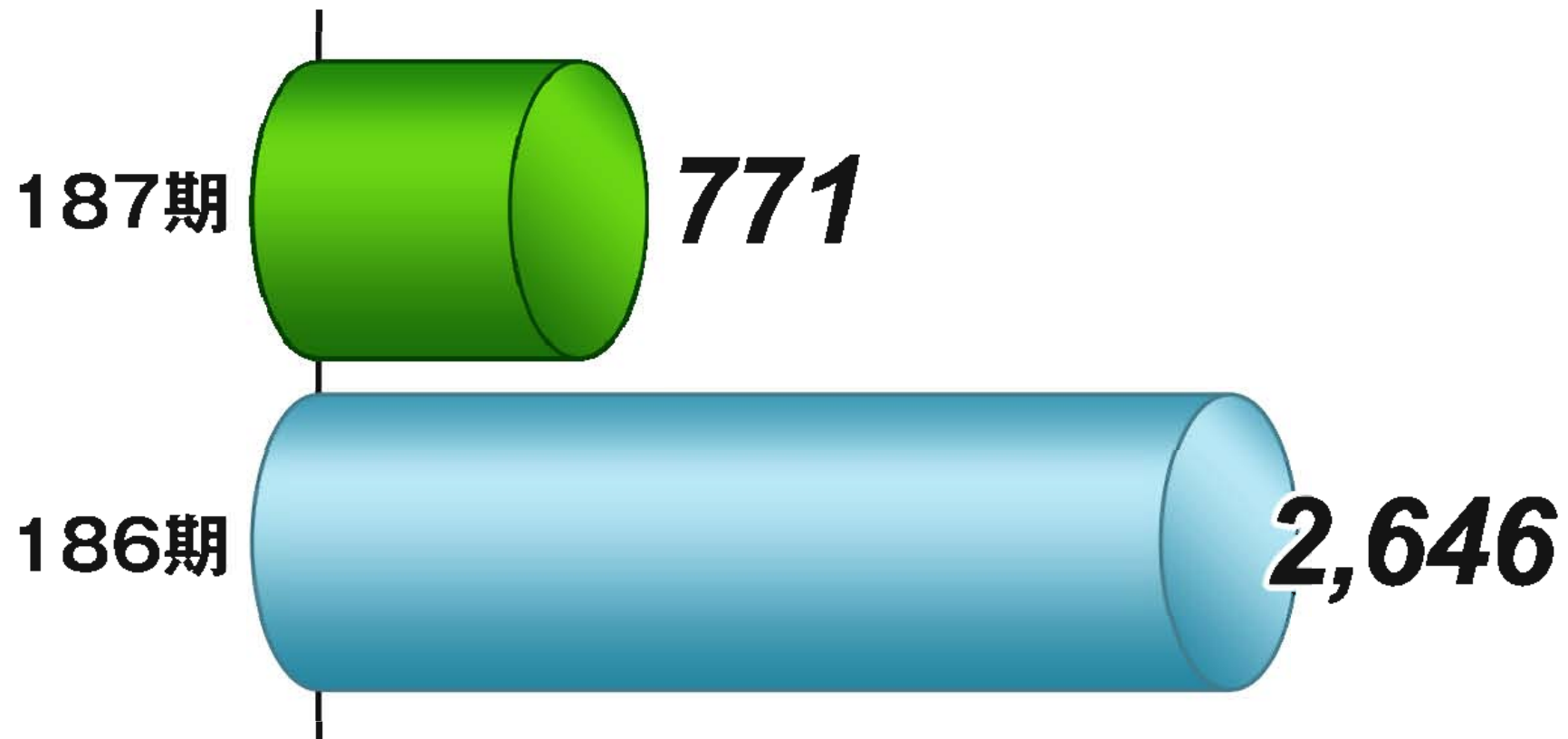


(億円未満切捨表示)

車両事業

単位:億円

受注高合計



(億円未満切捨表示)

車両事業

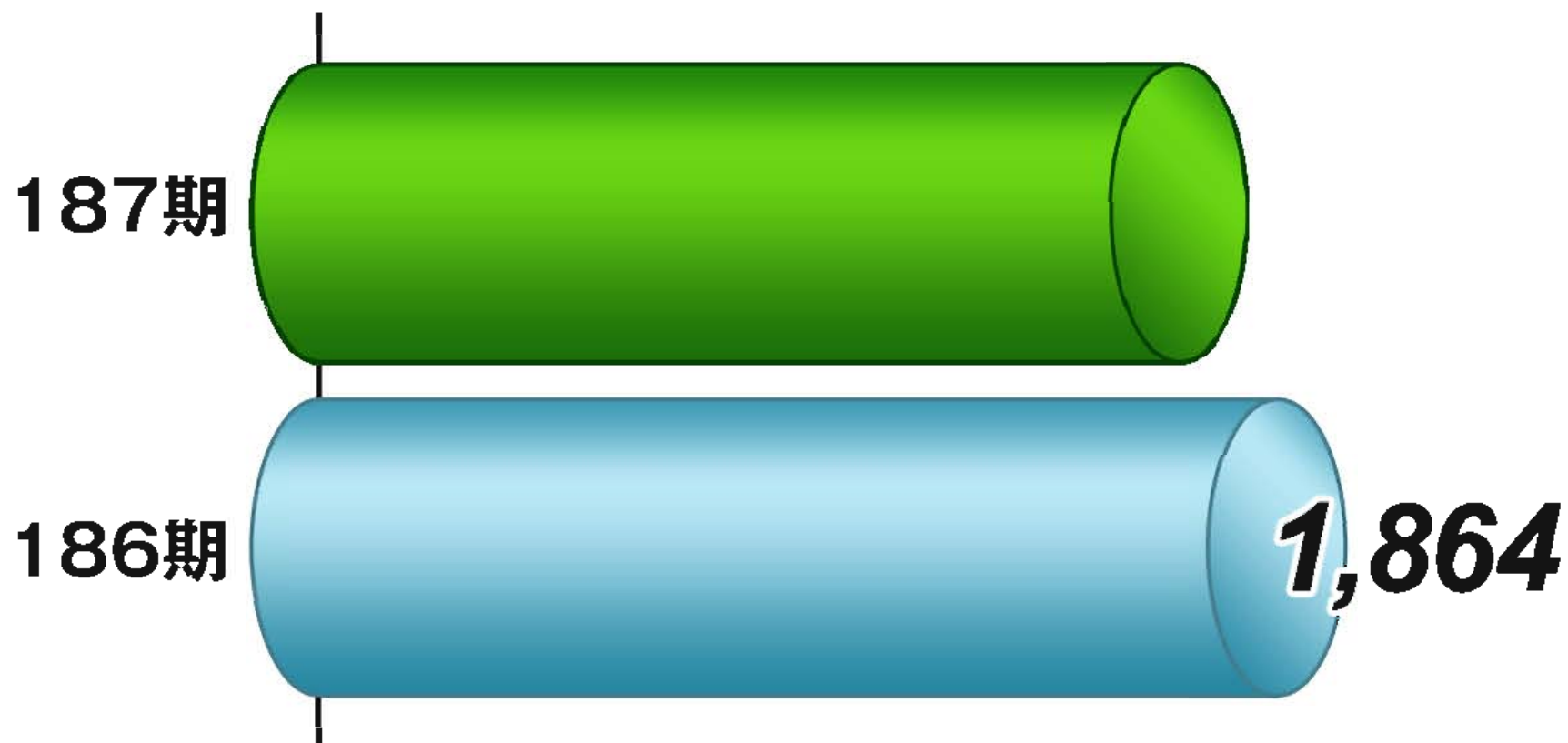
売上状況

- ・ JR各社向け及び海外向け鉄道車両が増加
- ・ 建設機械部門のセグメント区分変更など

車両事業

単位:億円

売上高合計

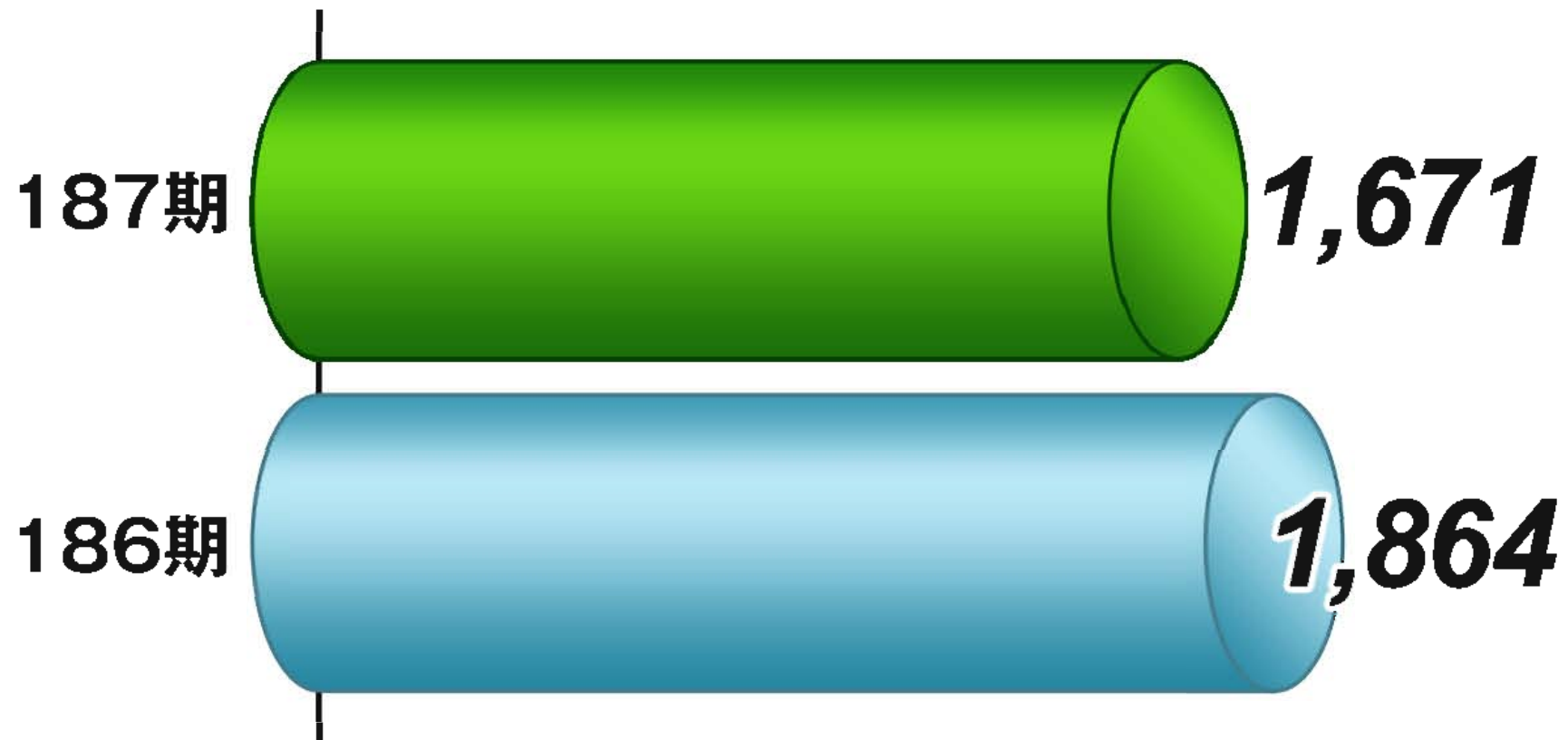


(億円未満切捨表示)

車両事業

単位:億円

売上高合計

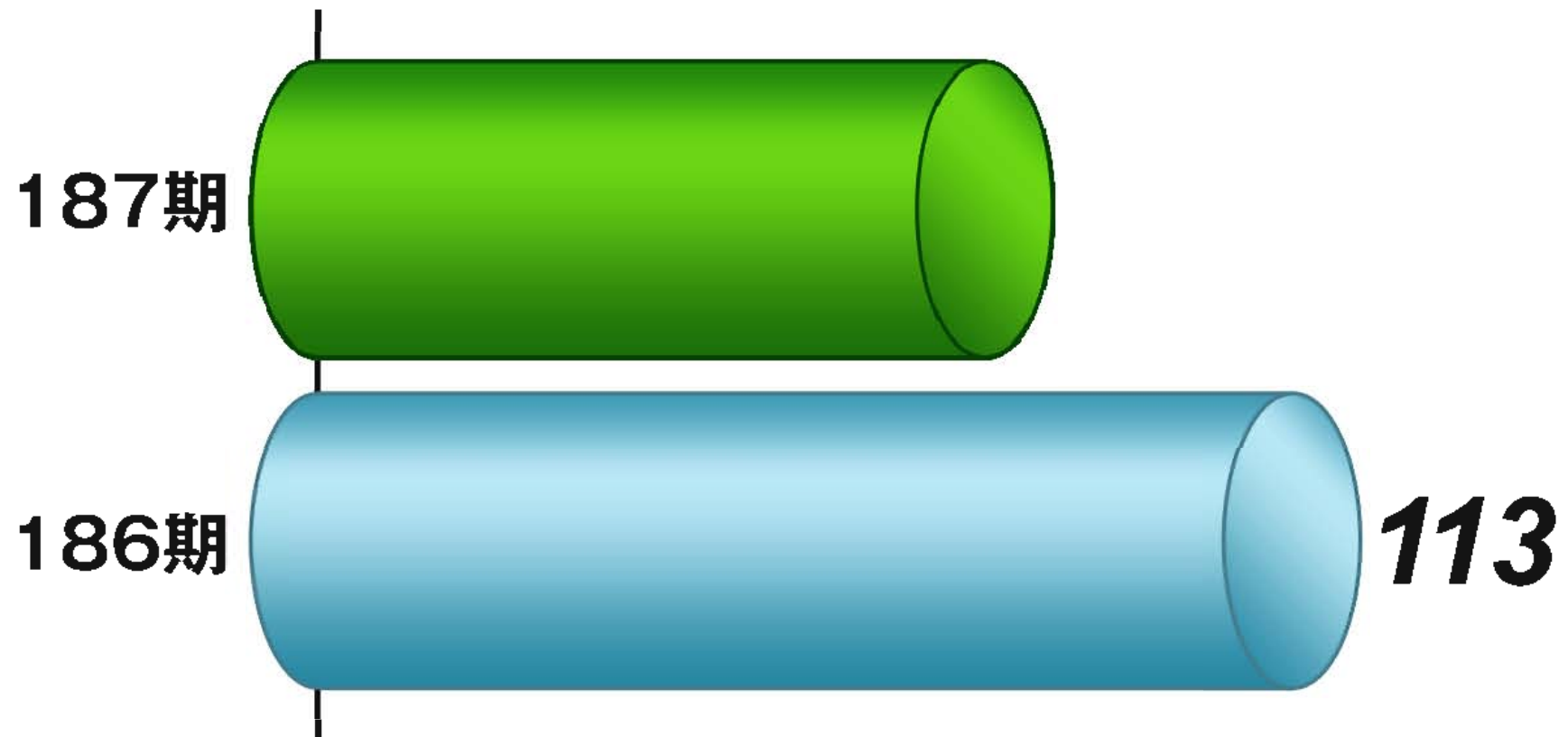


(億円未満切捨表示)

車両事業

単位:億円

営業利益

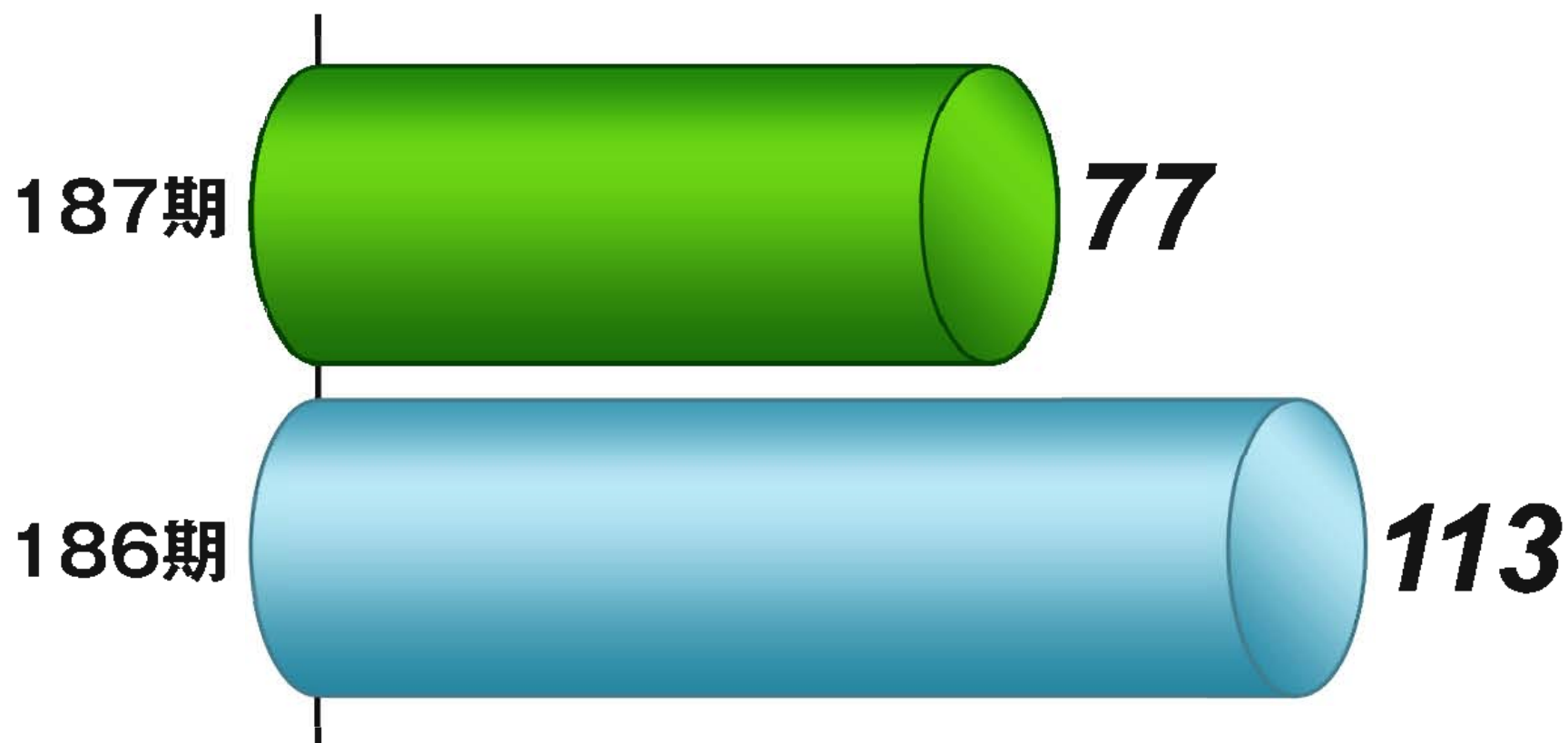


(億円未満切捨表示)

車両事業

単位:億円

営業利益



(億円未満切捨表示)

航空宇宙事業



航空宇宙事業

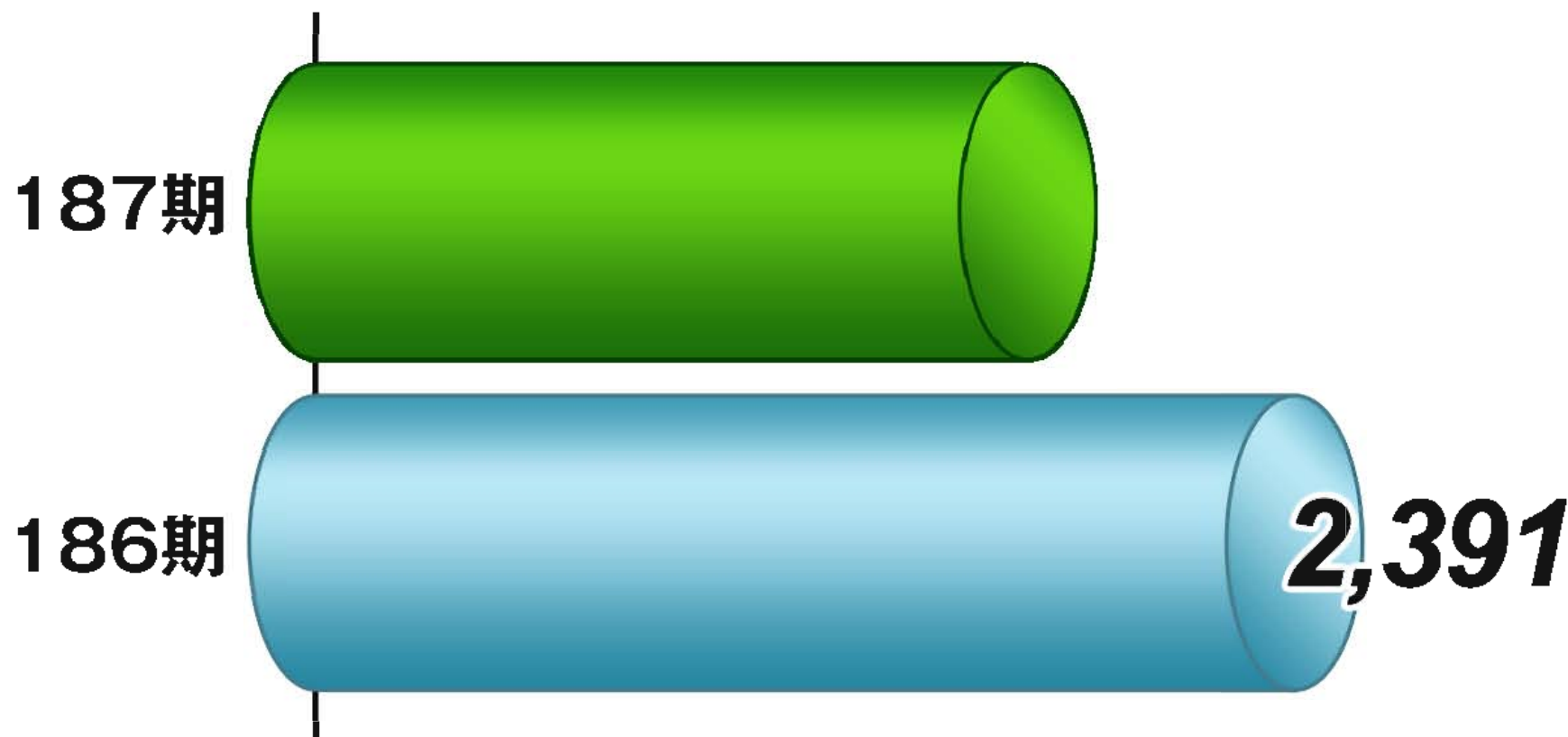
受注状況

- ・ 防衛省向け航空機
- ・ ボーイング社向けB777旅客機分担製造品
などが減少

航空宇宙事業

単位:億円

受注高合計

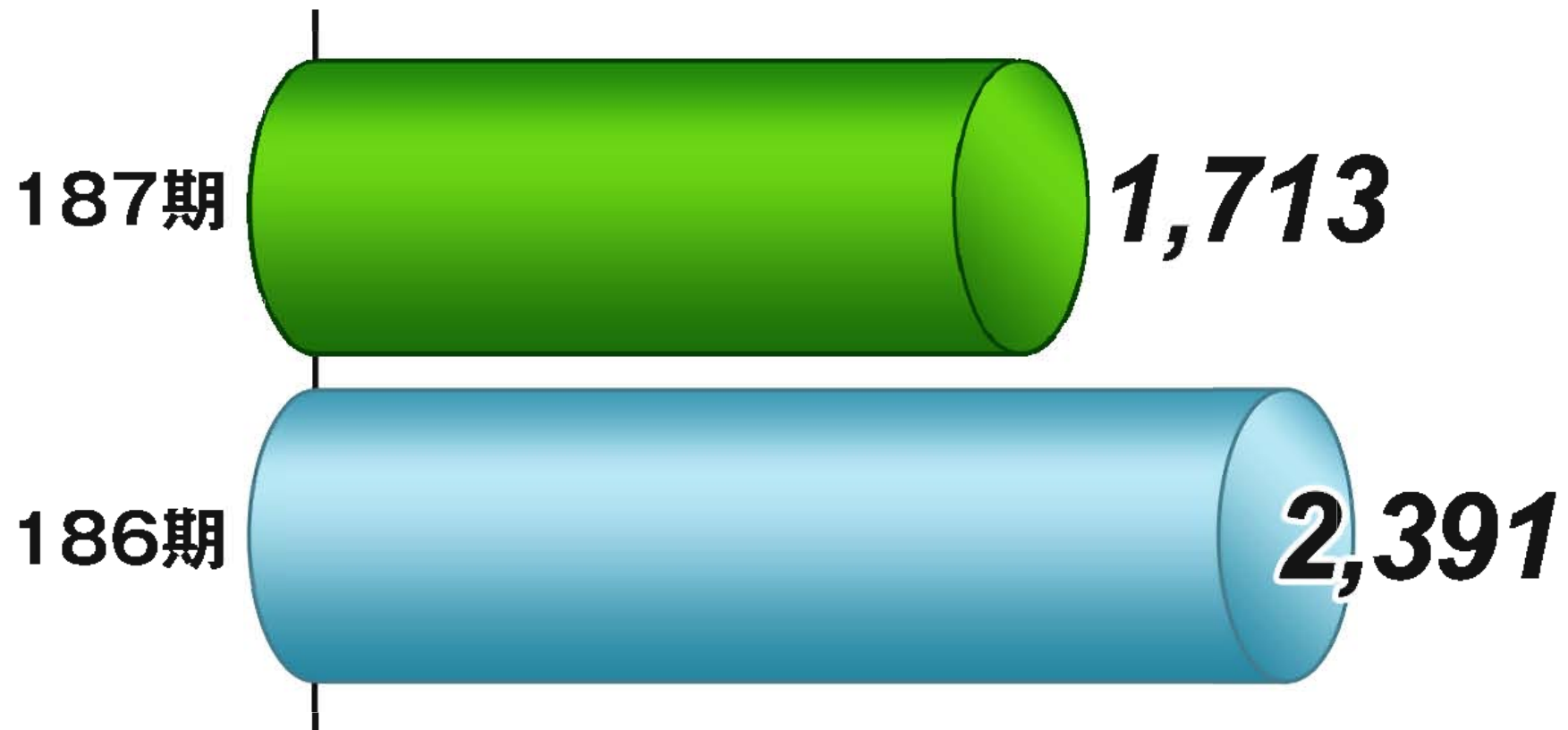


(億円未満切捨表示)

航空宇宙事業

単位:億円

受注高合計



(億円未満切捨表示)

航空宇宙事業

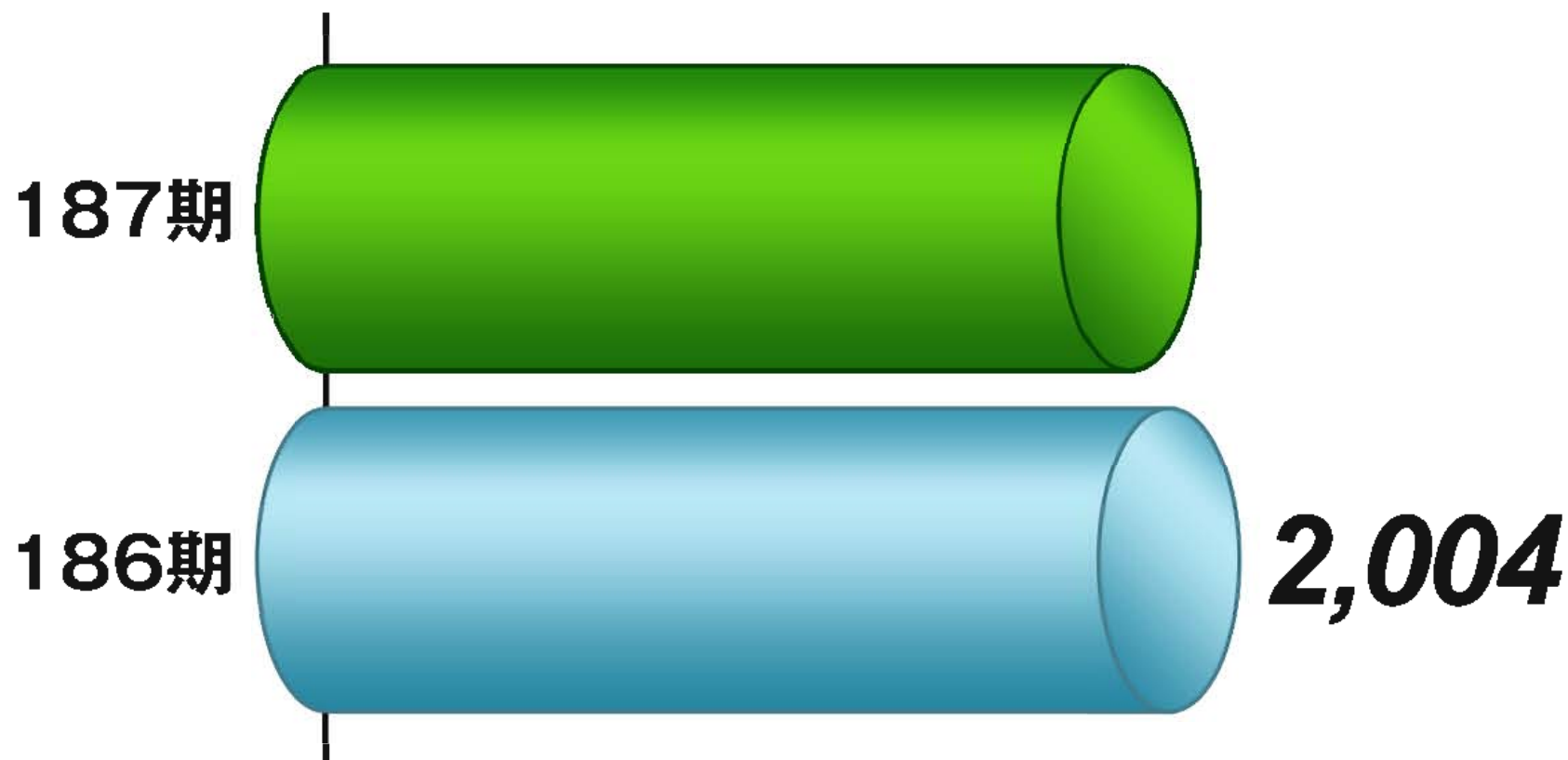
売上状況

- ・防衛省向けの減少など

航空宇宙事業

単位:億円

売上高合計

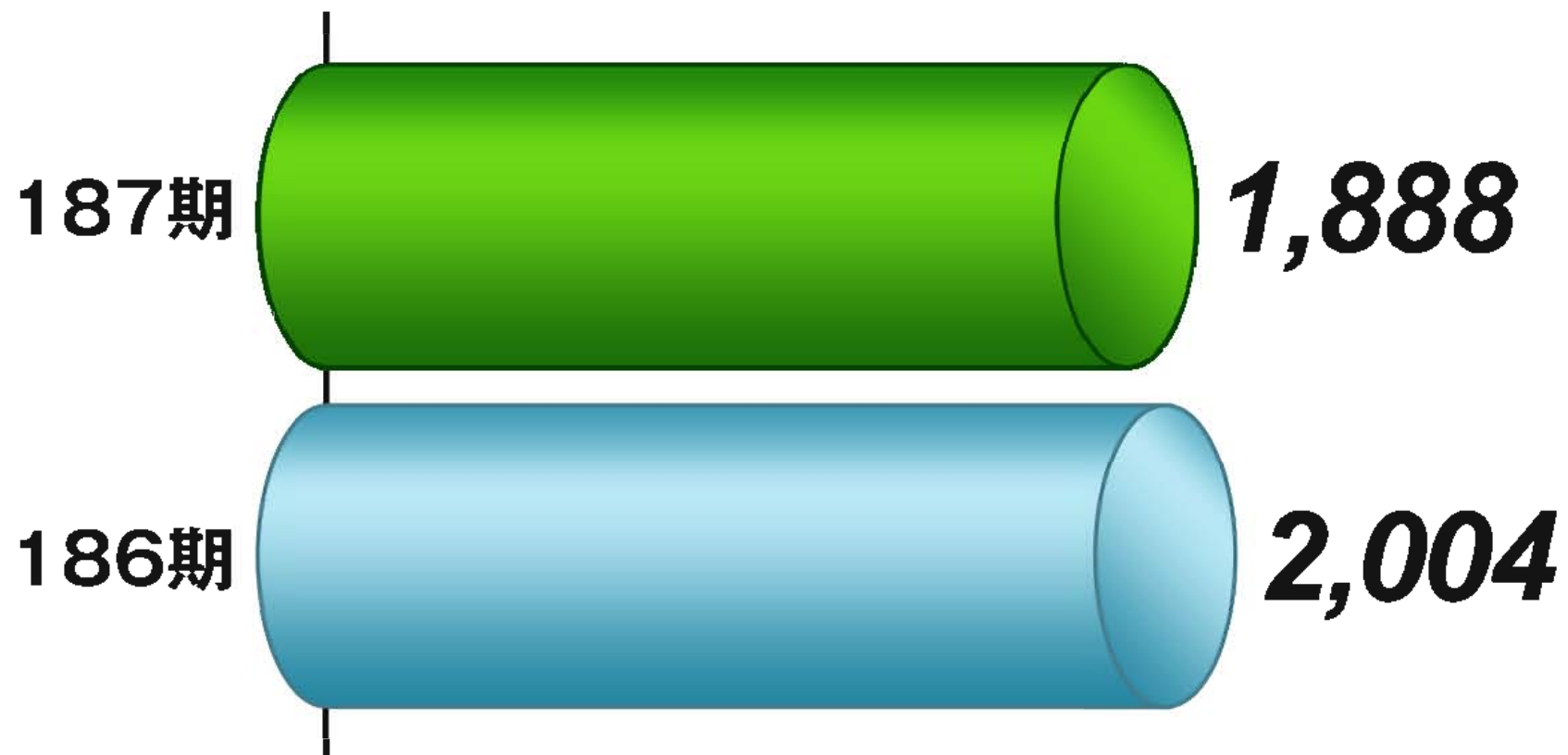


(億円未満切捨表示)

航空宇宙事業

単位:億円

売上高合計



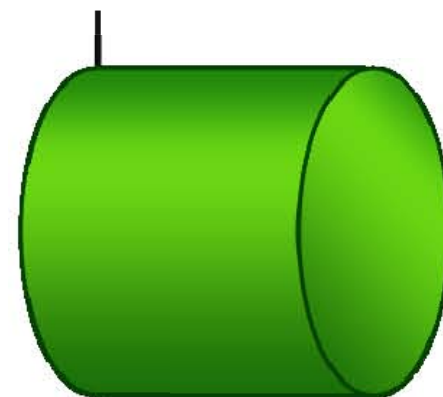
(億円未満切捨表示)

航空宇宙事業

単位:億円

営業損益

187期



186期

▲41

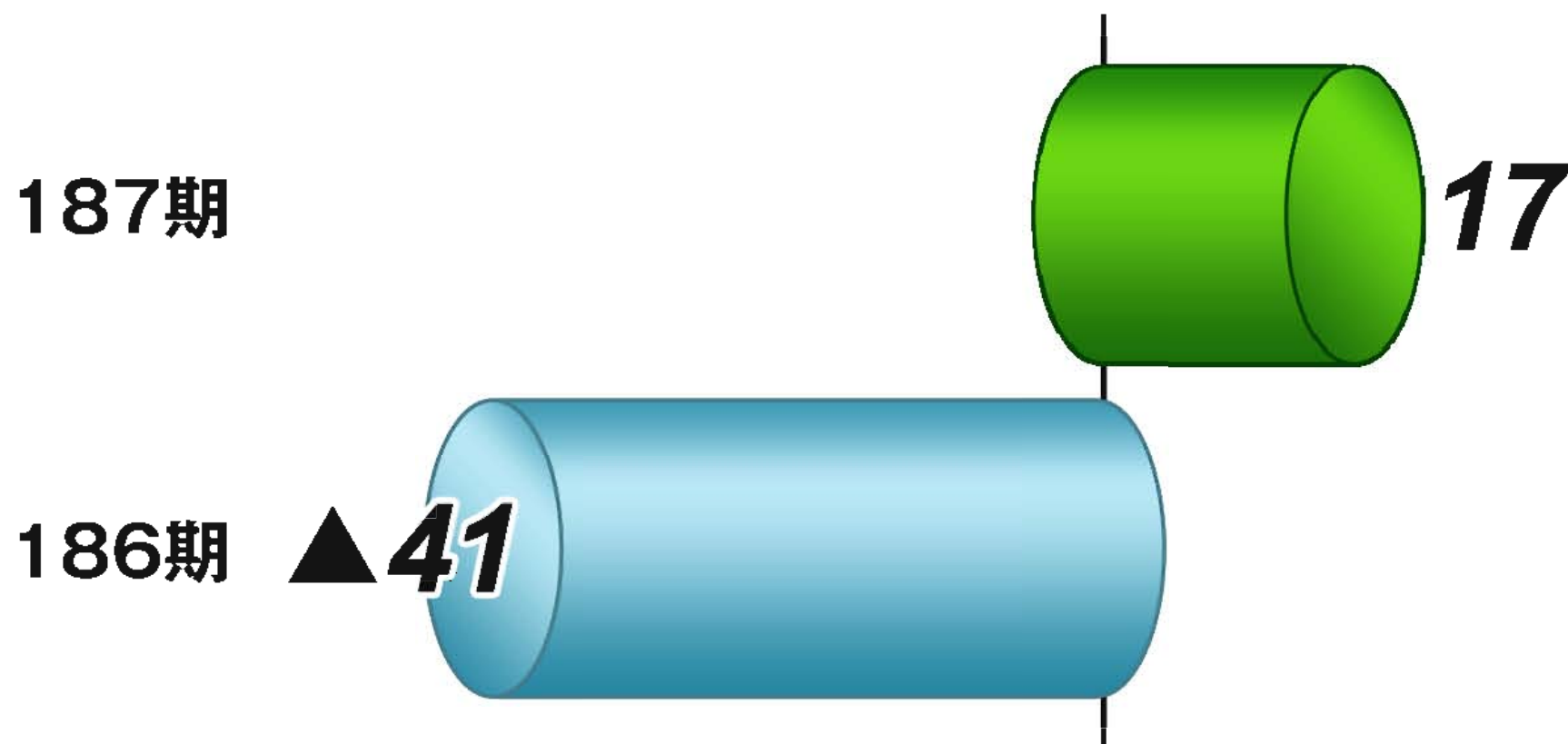


(億円未満切捨表示)

航空宇宙事業

単位:億円

営業損益



(億円未満切捨表示)

ガスタービン・機械事業



ガスタービン・機械事業

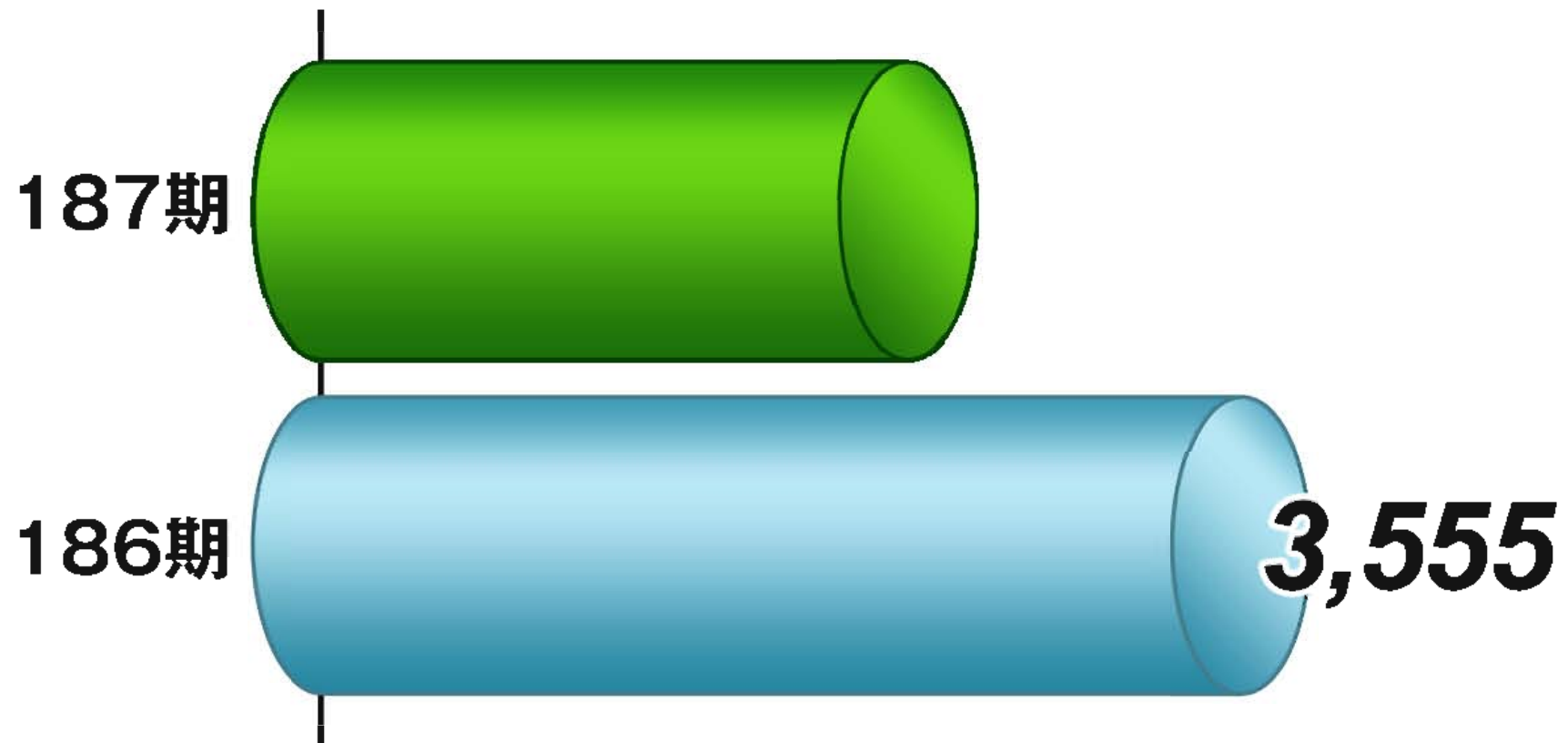
受注状況

- ・ 航空機用エンジン分担製造品
- ・ 船用推進機などが減少

ガスタービン・機械事業

単位:億円

受注高合計

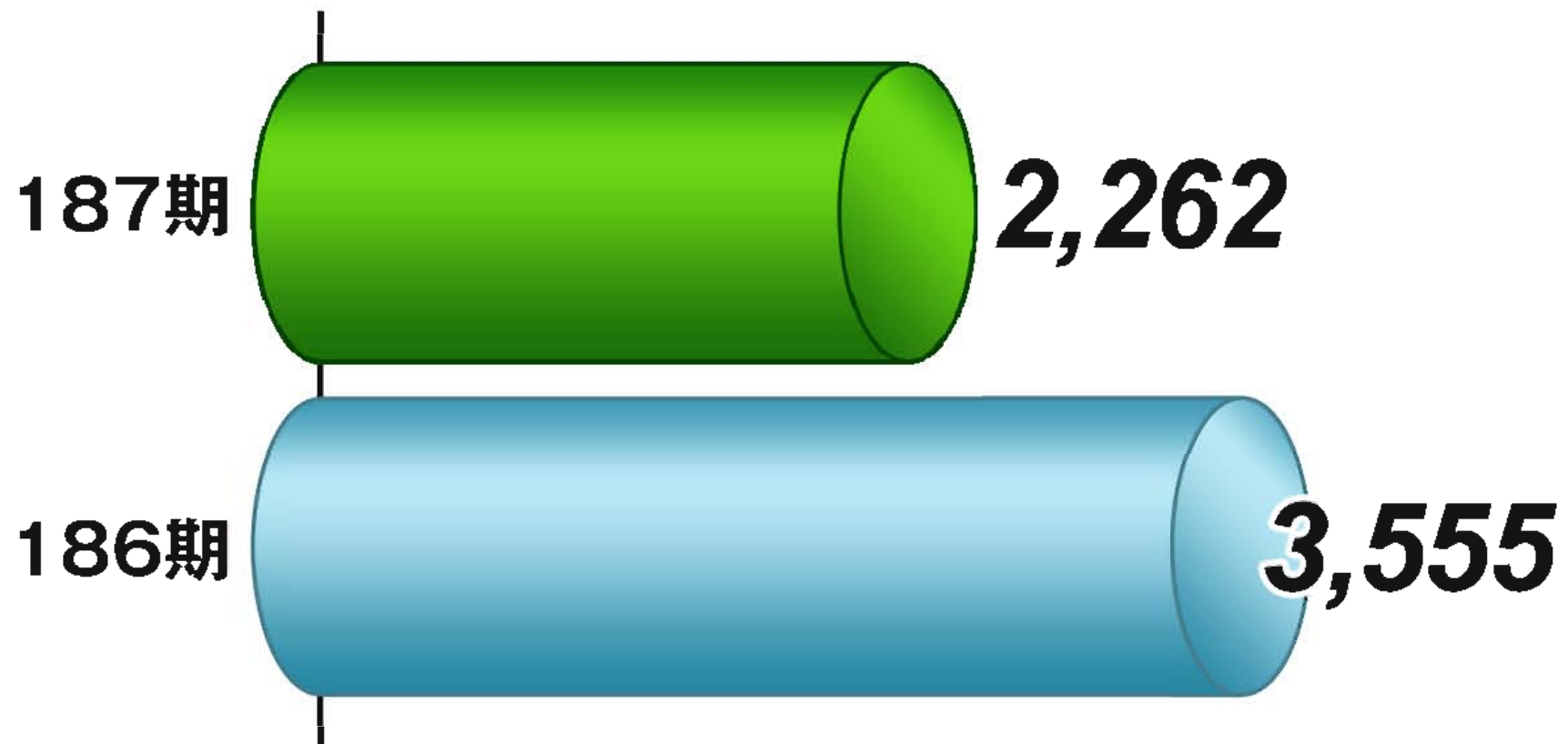


(億円未満切捨表示)

ガスタービン・機械事業

単位:億円

受注高合計



(億円未満切捨表示)

ガスタービン・機械事業

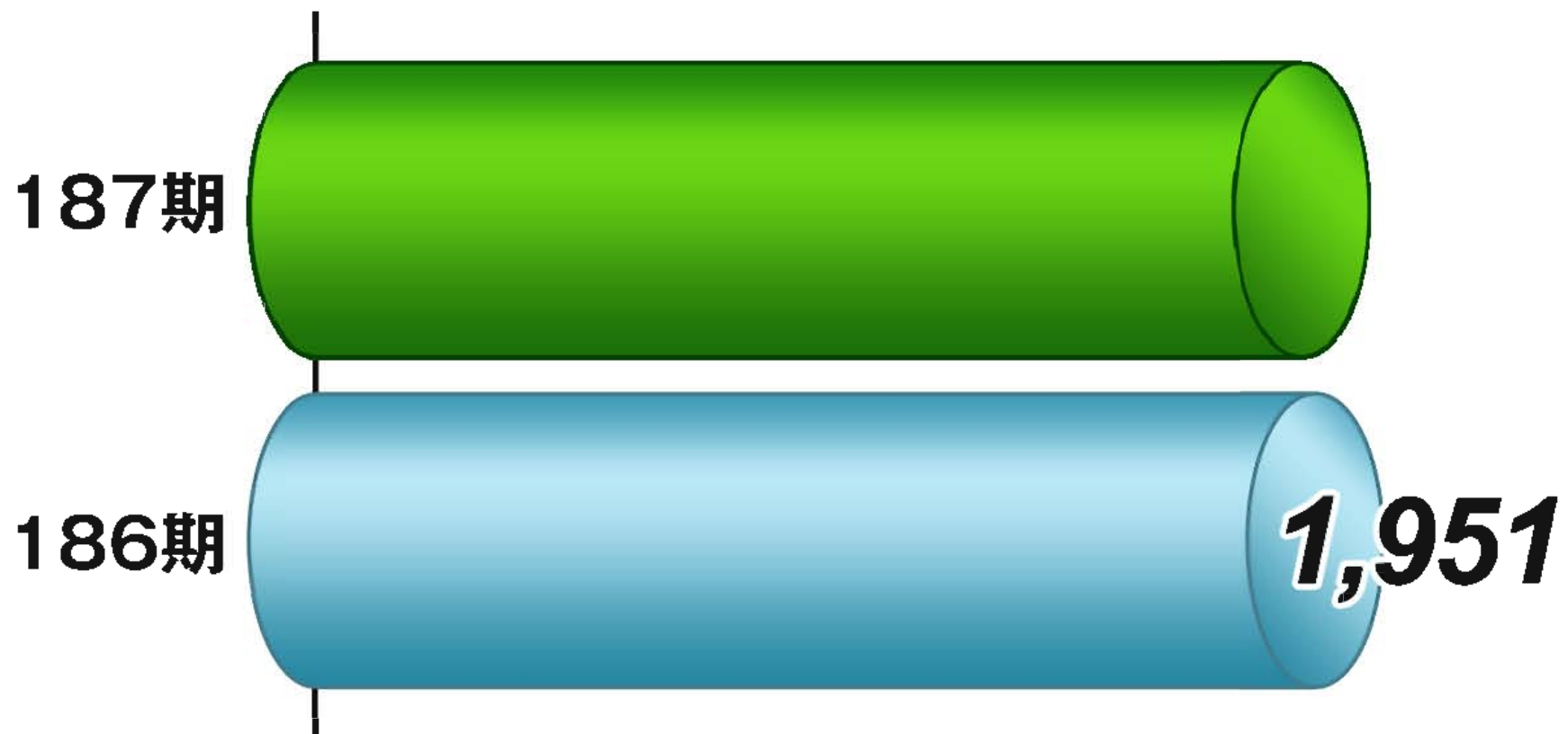
売上状況

- ・ 陸用タービン設備などが増加
- ・ 船用ディーゼル主機関などが減少

ガスタービン・機械事業

単位:億円

売上高合計

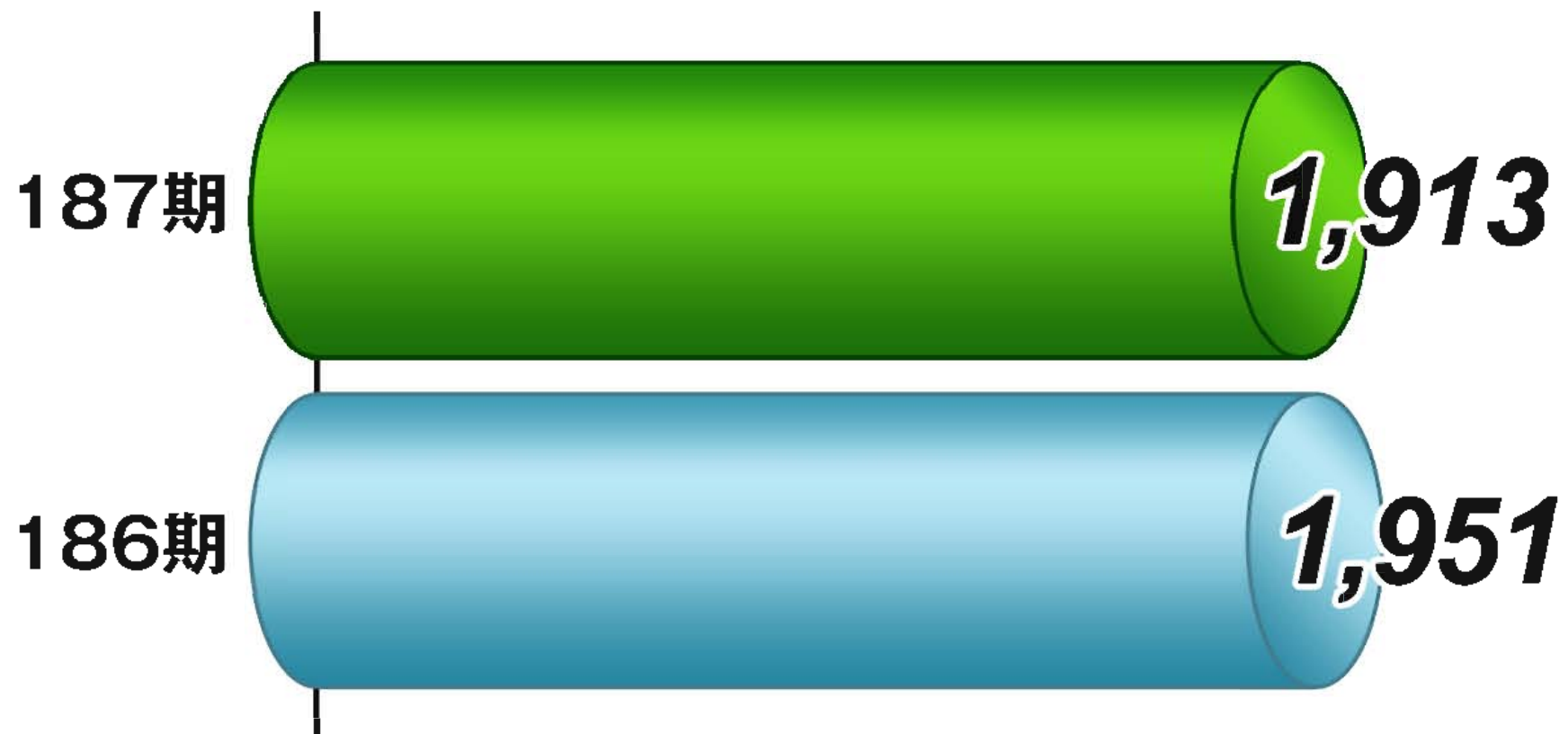


(億円未満切捨表示)

ガスタービン・機械事業

単位:億円

売上高合計

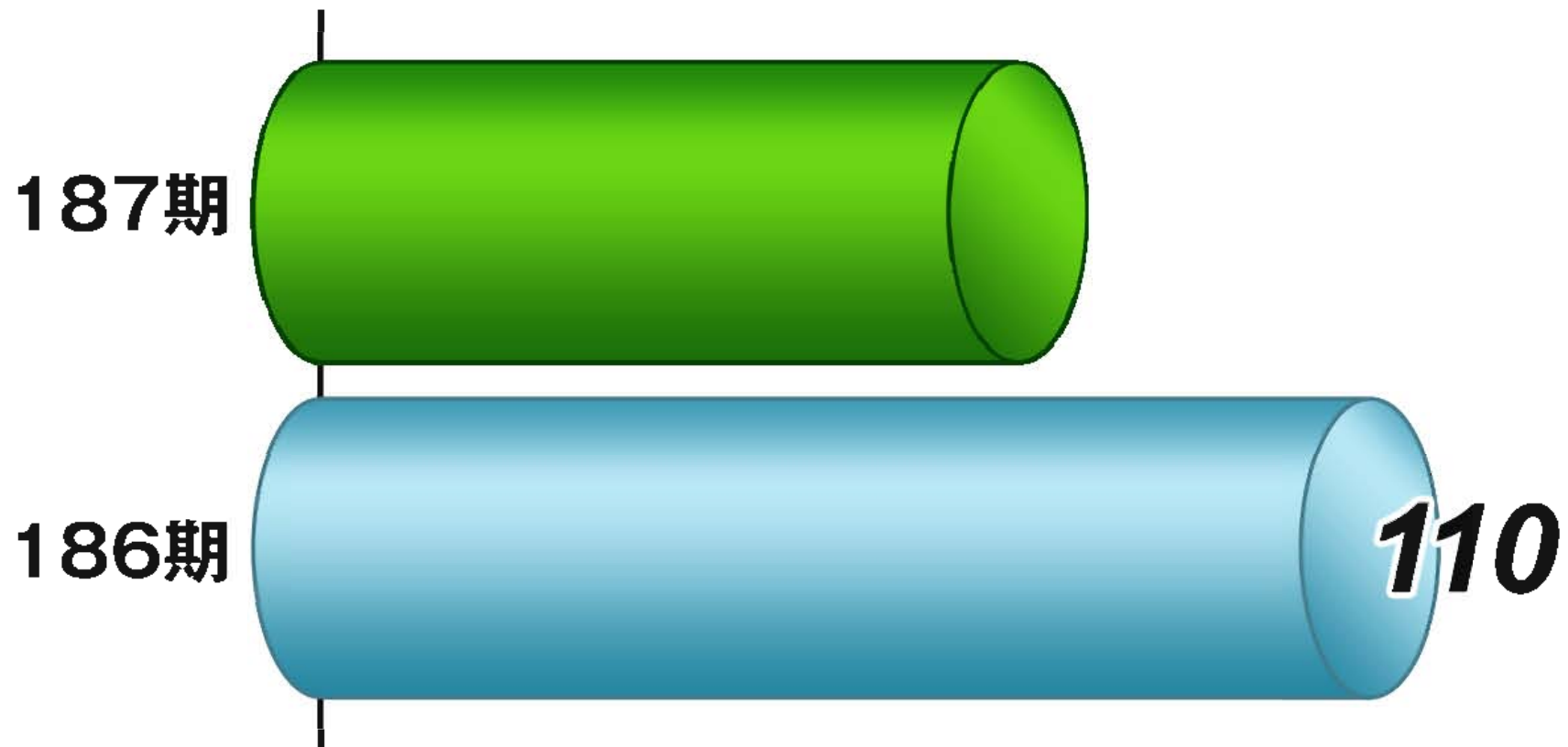


(億円未満切捨表示)

ガスタービン・機械事業

単位:億円

営業利益

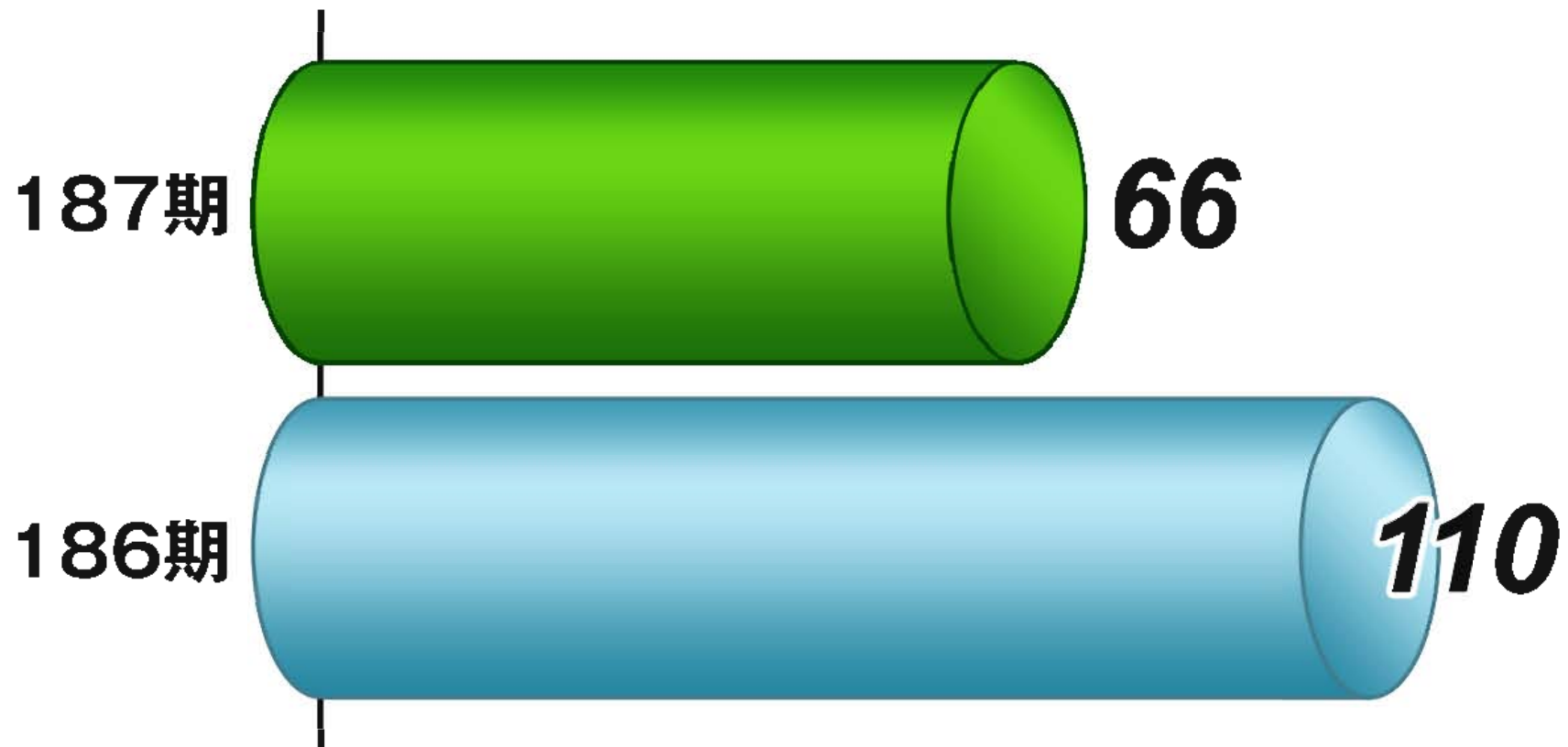


(億円未満切捨表示)

ガスタービン・機械事業

単位:億円

営業利益



(億円未満切捨表示)

プラント・環境事業



プラント・環境事業

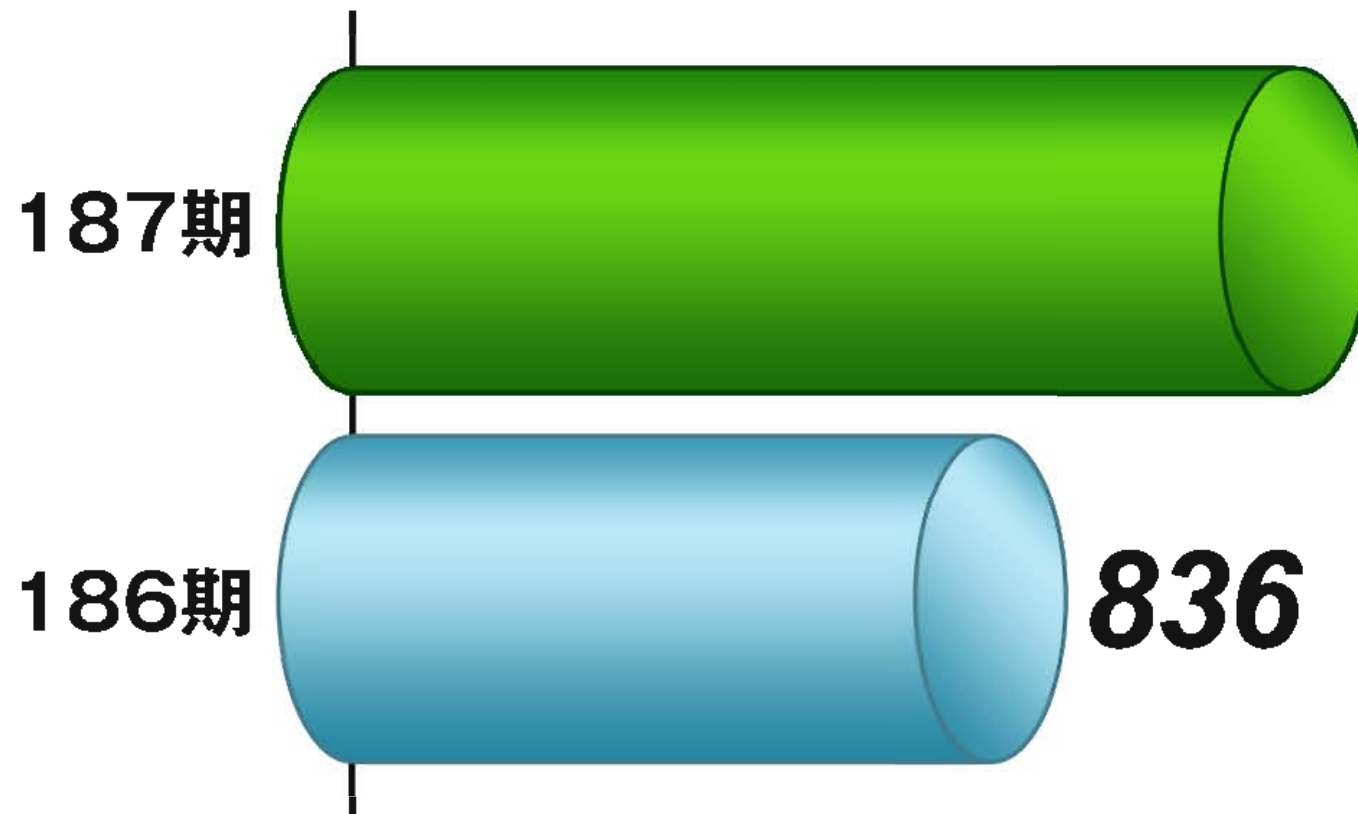
受注状況

- ・ 海外において肥料プラントなど

プラント・環境事業

単位:億円

受注高合計

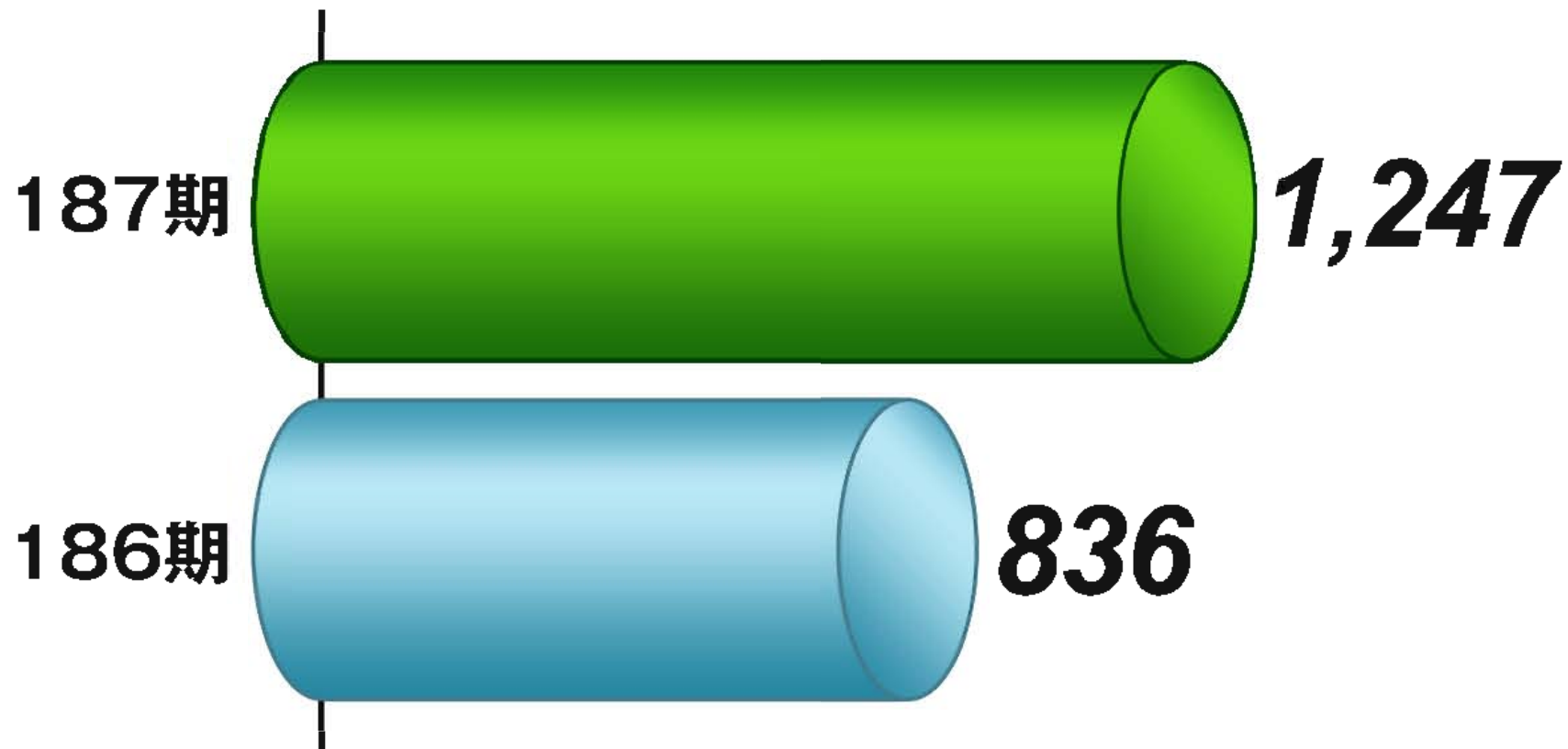


(億円未満切捨表示)

プラント・環境事業

単位:億円

受注高合計



(億円未満切捨表示)

プラント・環境事業

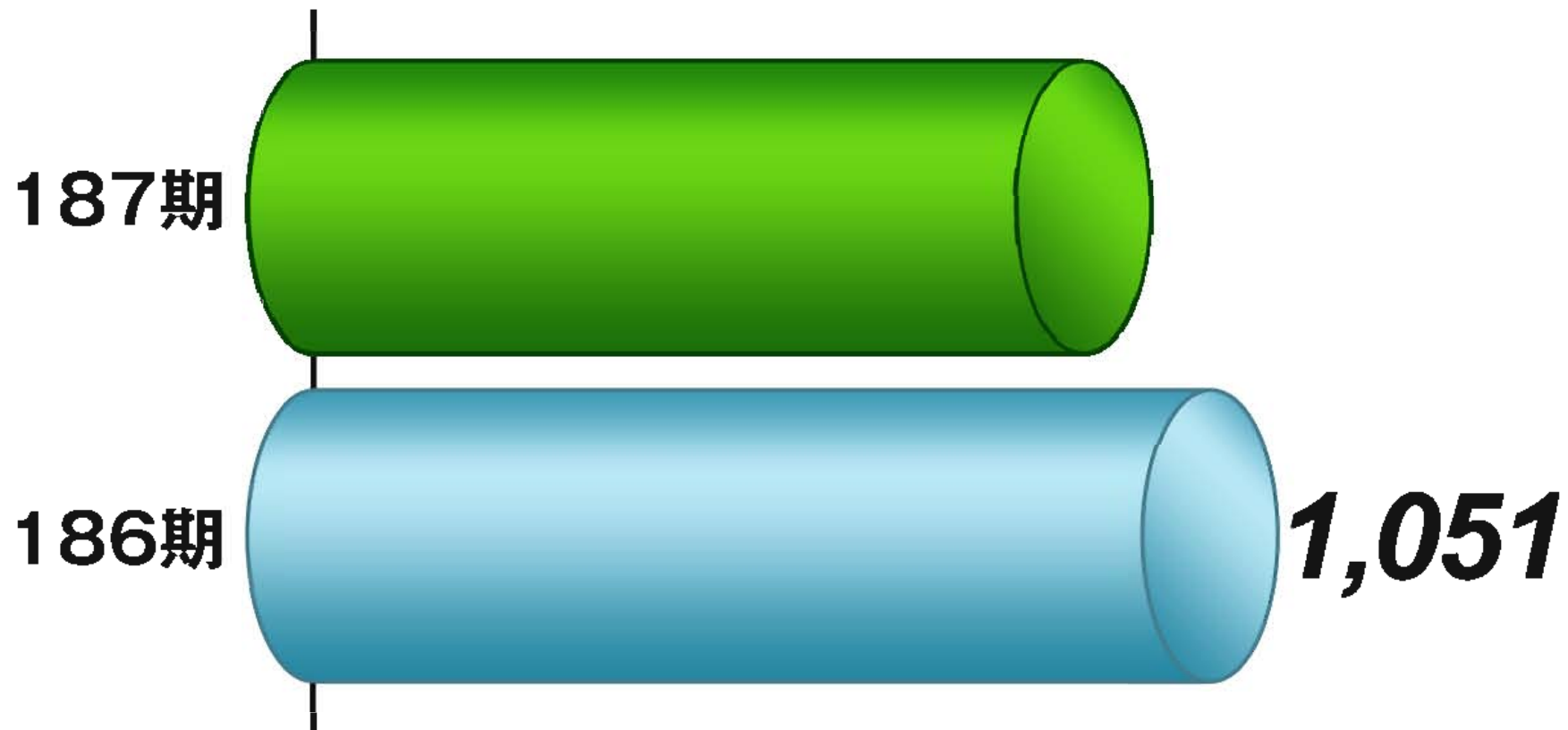
売上状況

- ・ 海外向け大型プラントが減少

プラント・環境事業

単位:億円

売上高合計

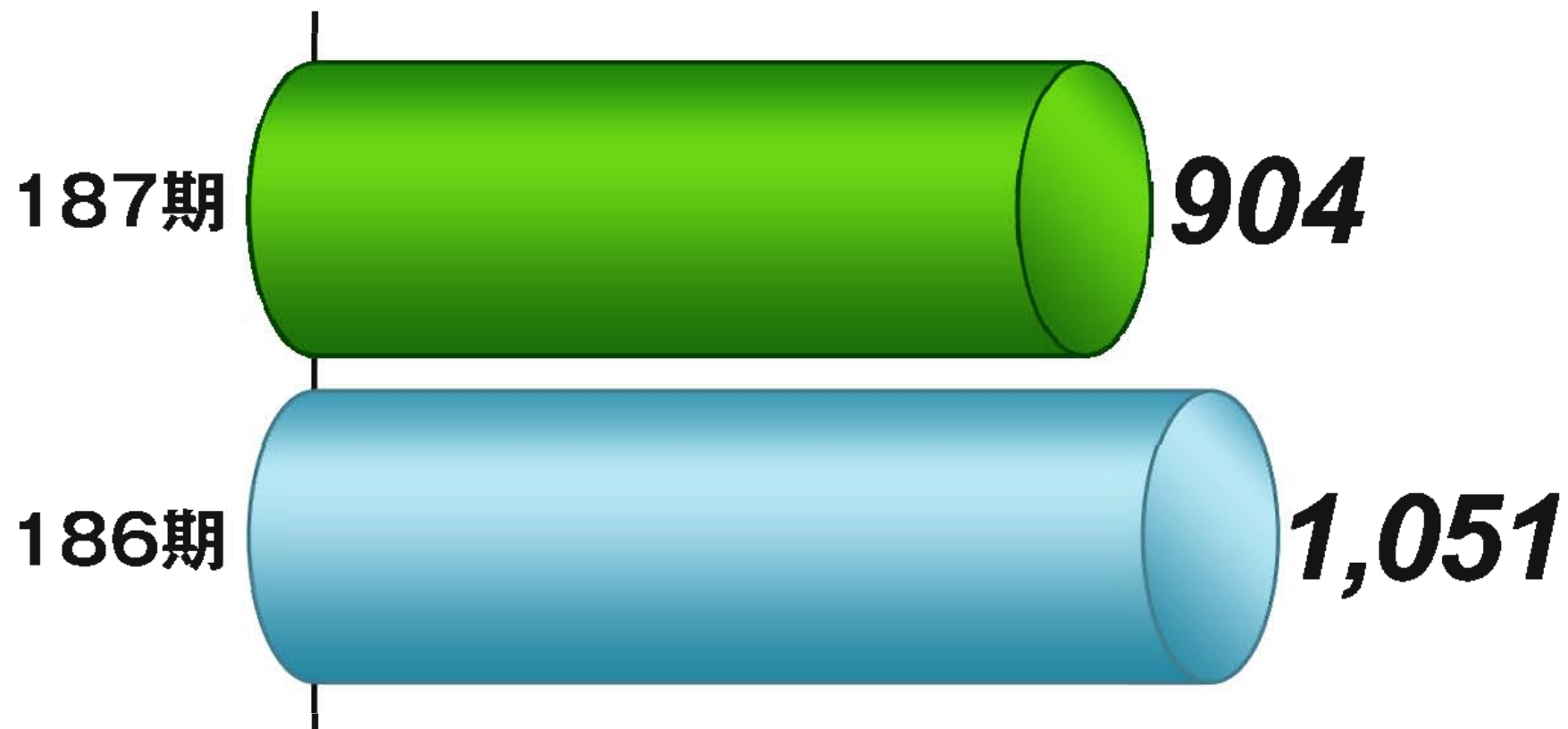


(億円未満切捨表示)

プラント・環境事業

単位:億円

売上高合計

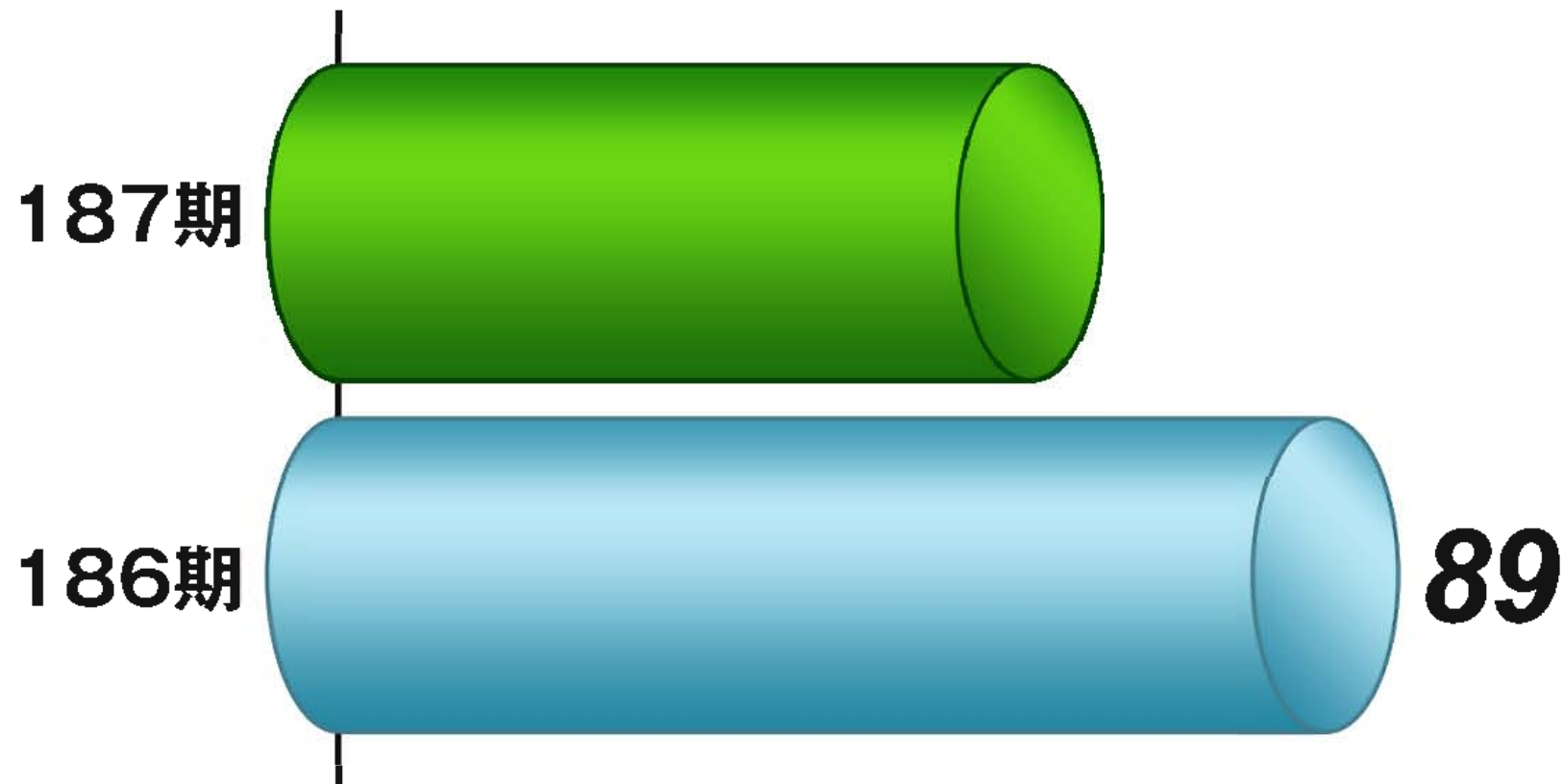


(億円未満切捨表示)

プラント・環境事業

単位:億円

営業利益

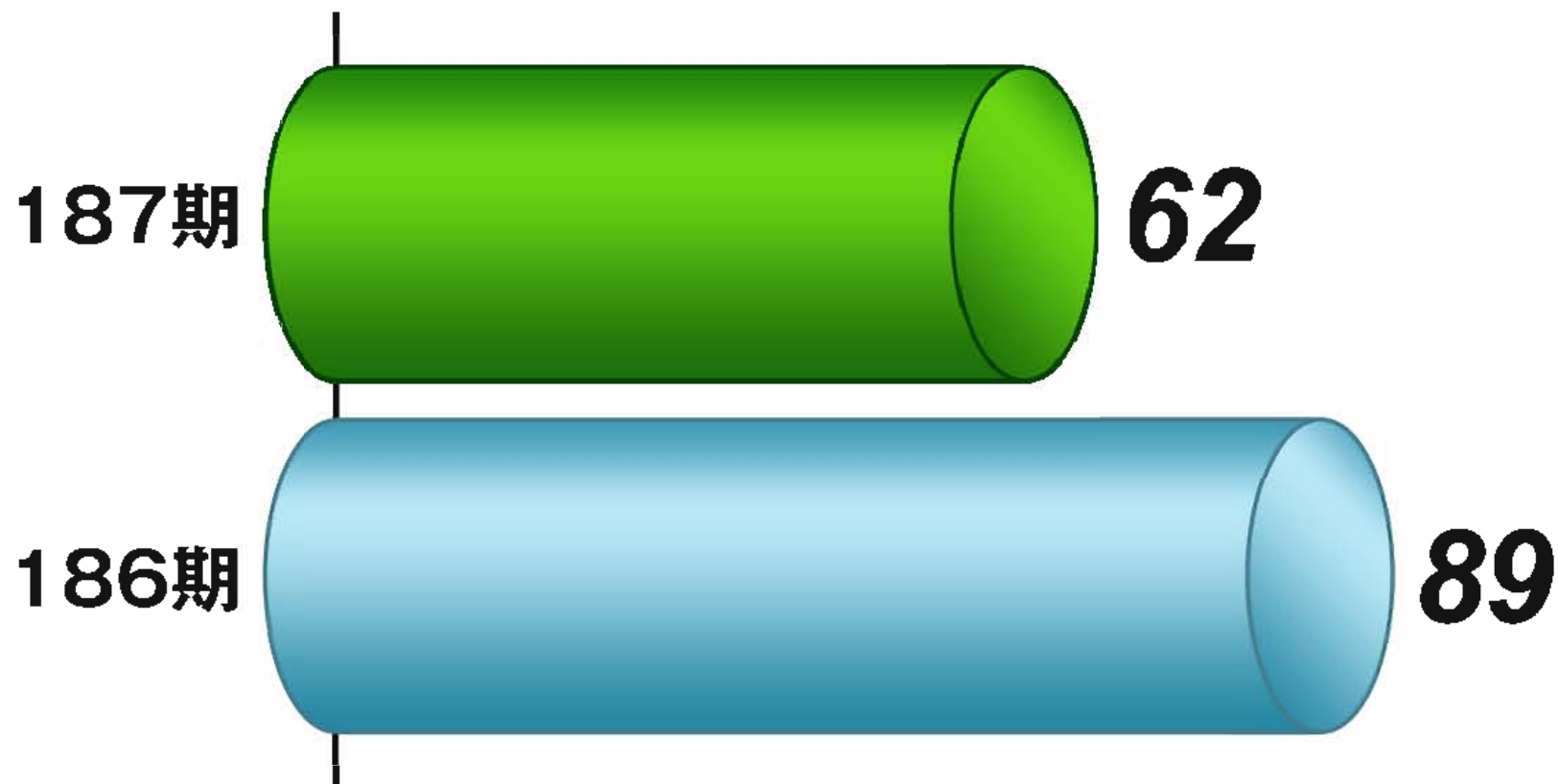


(億円未満切捨表示)

プラント・環境事業

単位:億円

営業利益



(億円未満切捨表示)

汎用機事業



汎用機事業

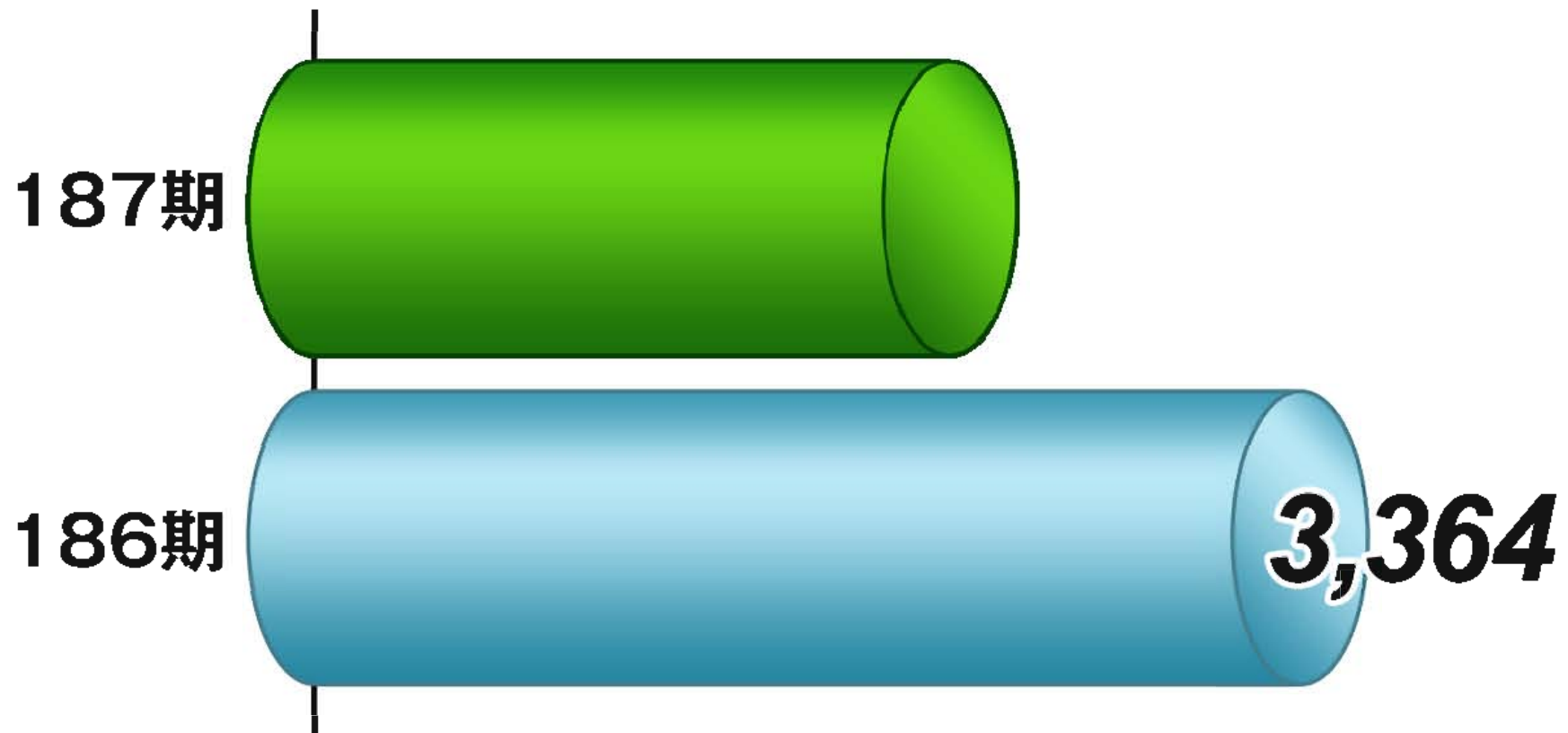
売上状況

- ・ 北米・欧州向け二輪車の販売減少
- ・ 各種産業用ロボットの販売も減少

汎用機事業

単位:億円

売上高合計

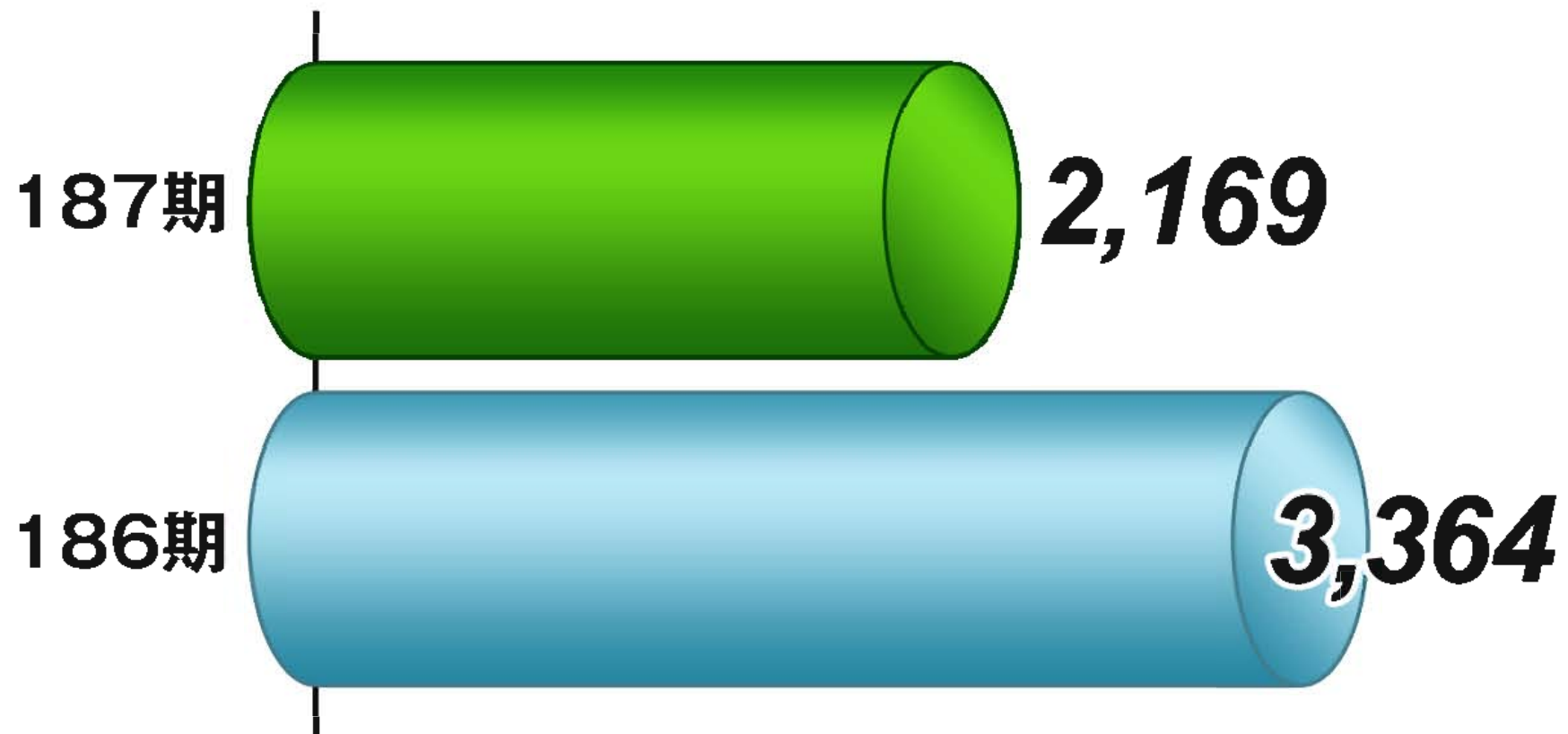


(億円未満切捨表示)

汎用機事業

単位:億円

売上高合計



(億円未満切捨表示)

汎用機事業

単位:億円

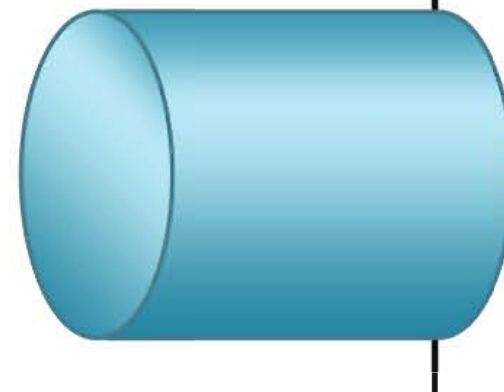
営業損失

187期



186期

▲101

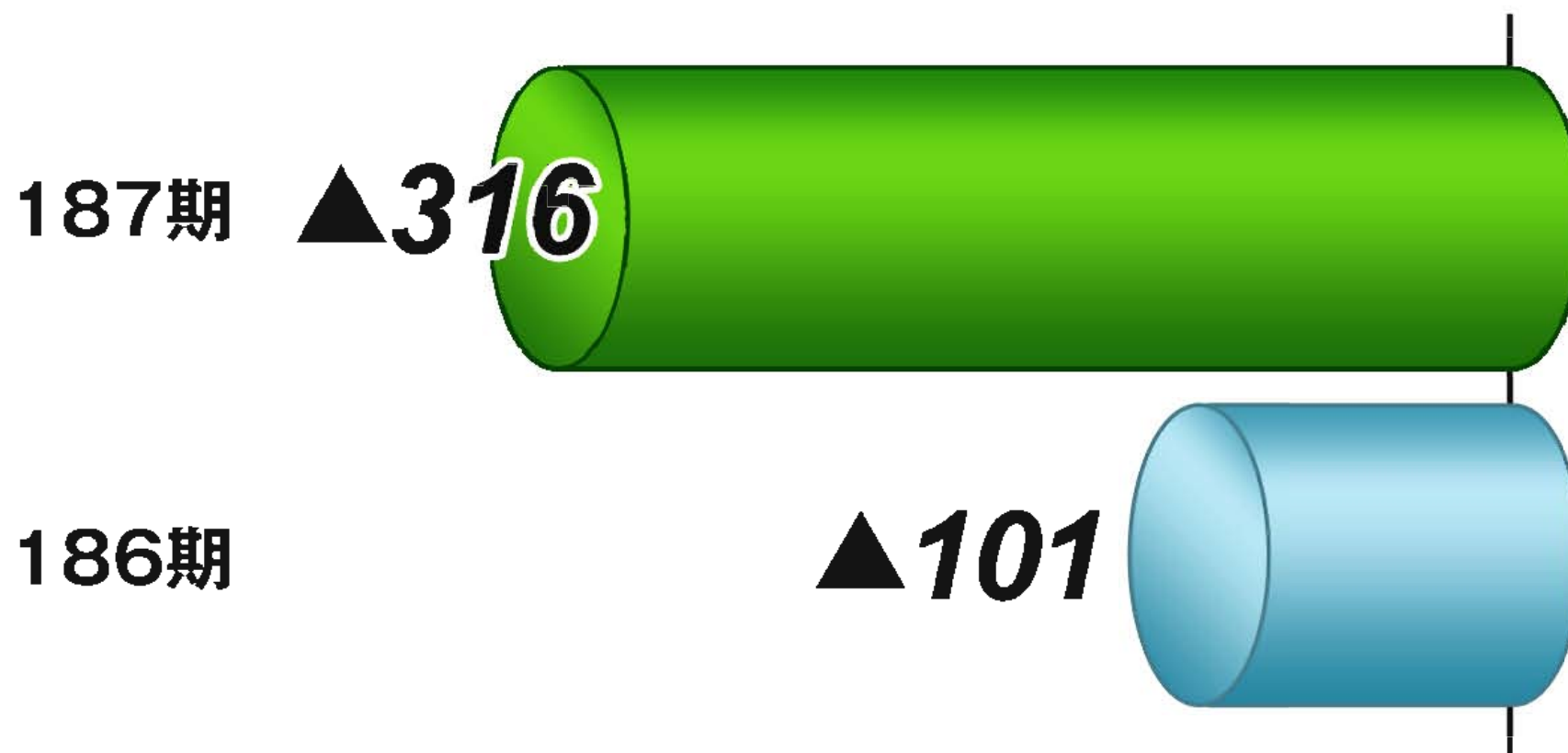


(億円未満切捨表示)

汎用機事業

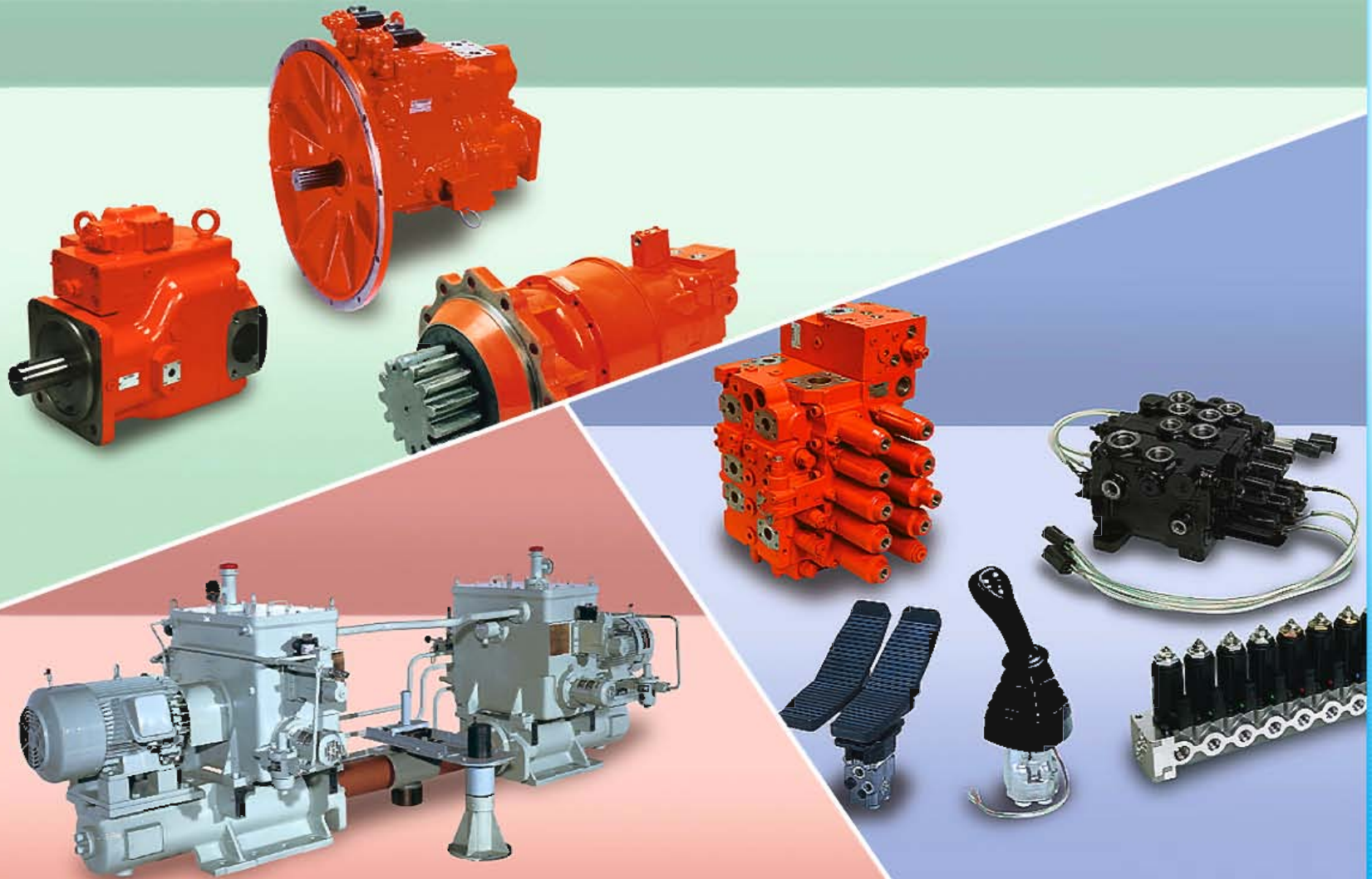
単位:億円

営業損失



(億円未満切捨表示)

油压機器事業



油圧機器事業

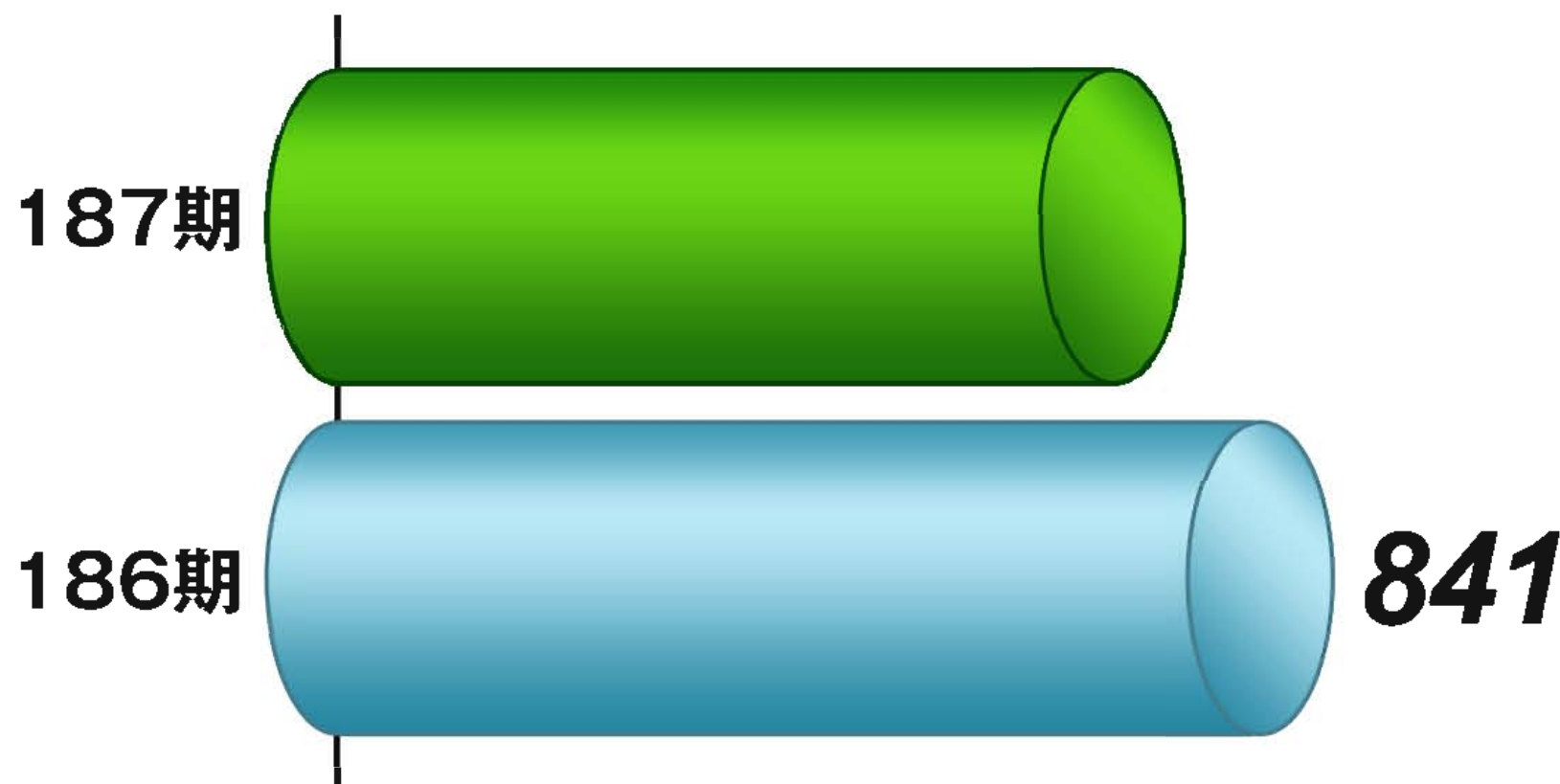
受注状況

- ・ 建設機械向けを中心

油圧機器事業

単位:億円

受注高合計

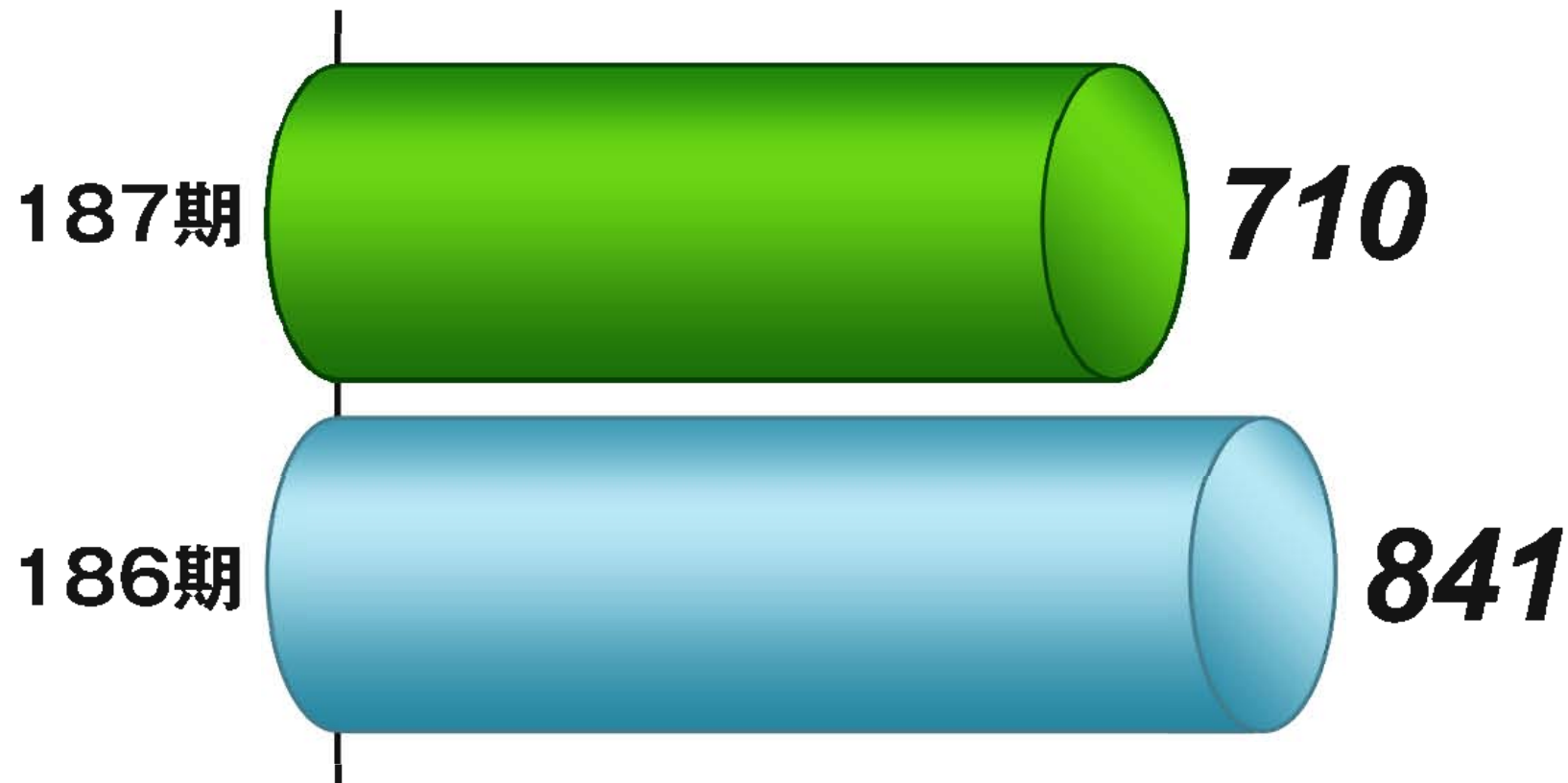


(億円未満切捨表示)

油圧機器事業

単位:億円

受注高合計



(億円未満切捨表示)

油圧機器事業

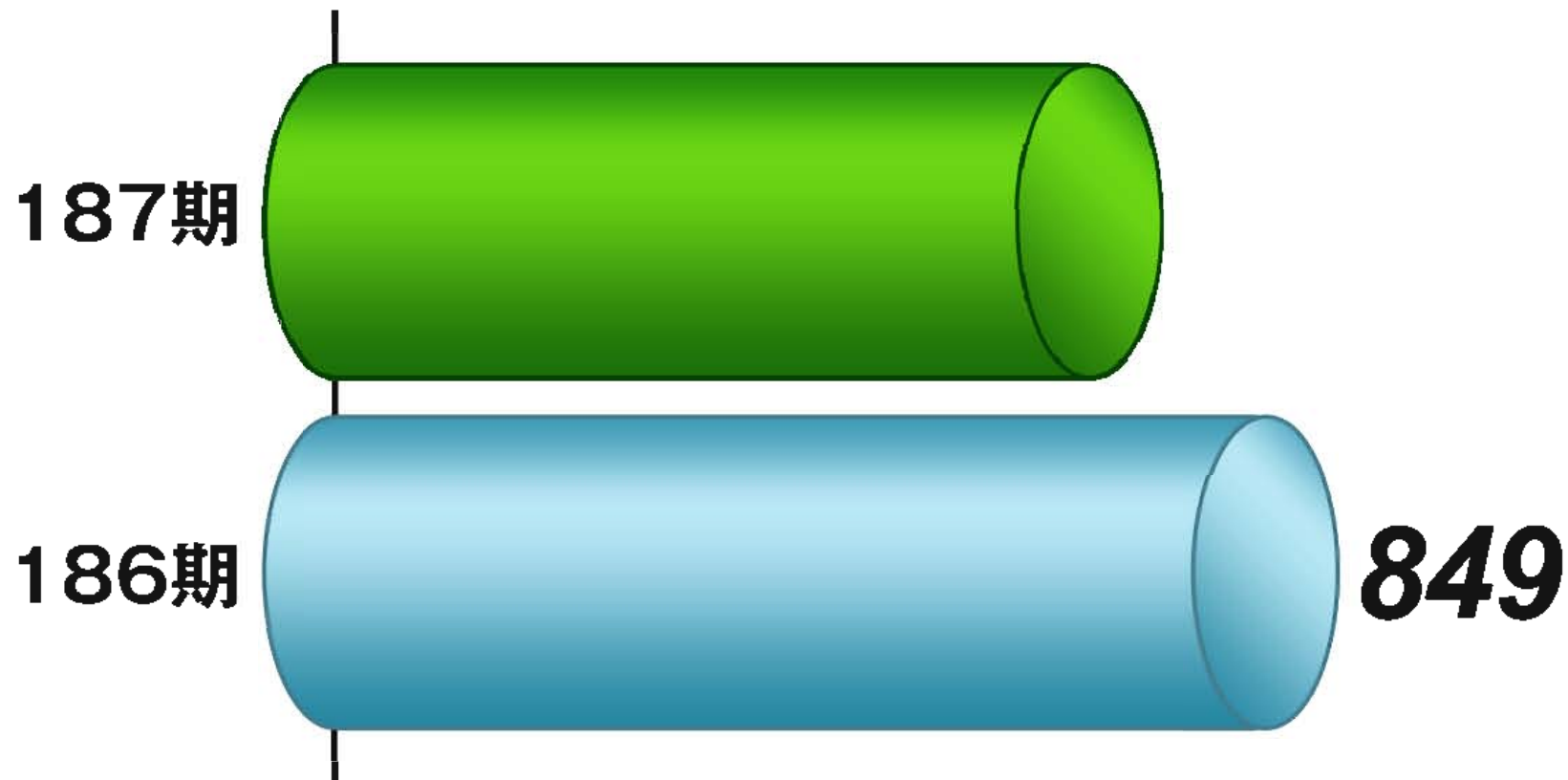
売上状況

- ・ 建設機械向けの減少など

油圧機器事業

単位:億円

売上高合計

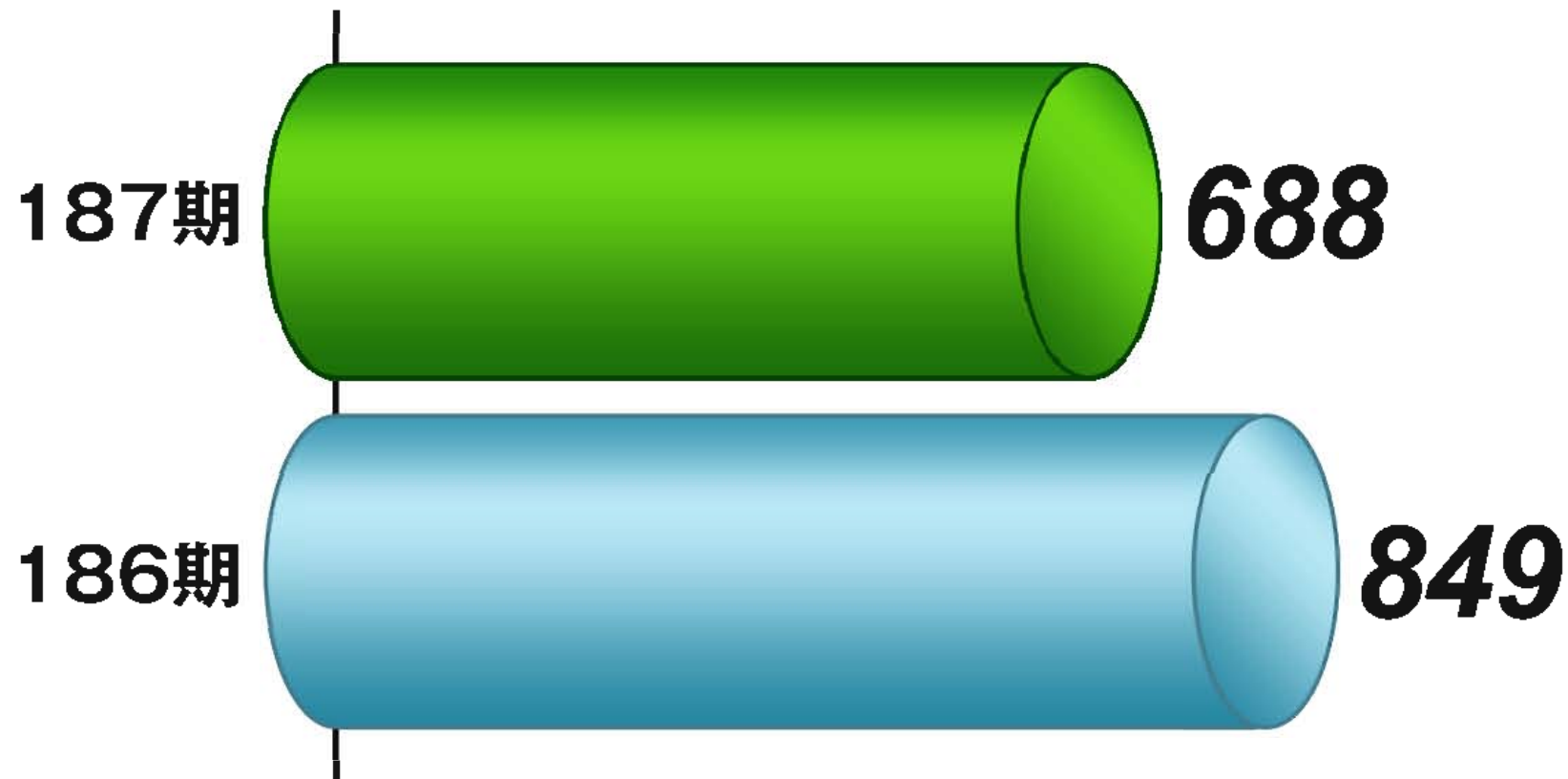


(億円未満切捨表示)

油圧機器事業

単位:億円

売上高合計

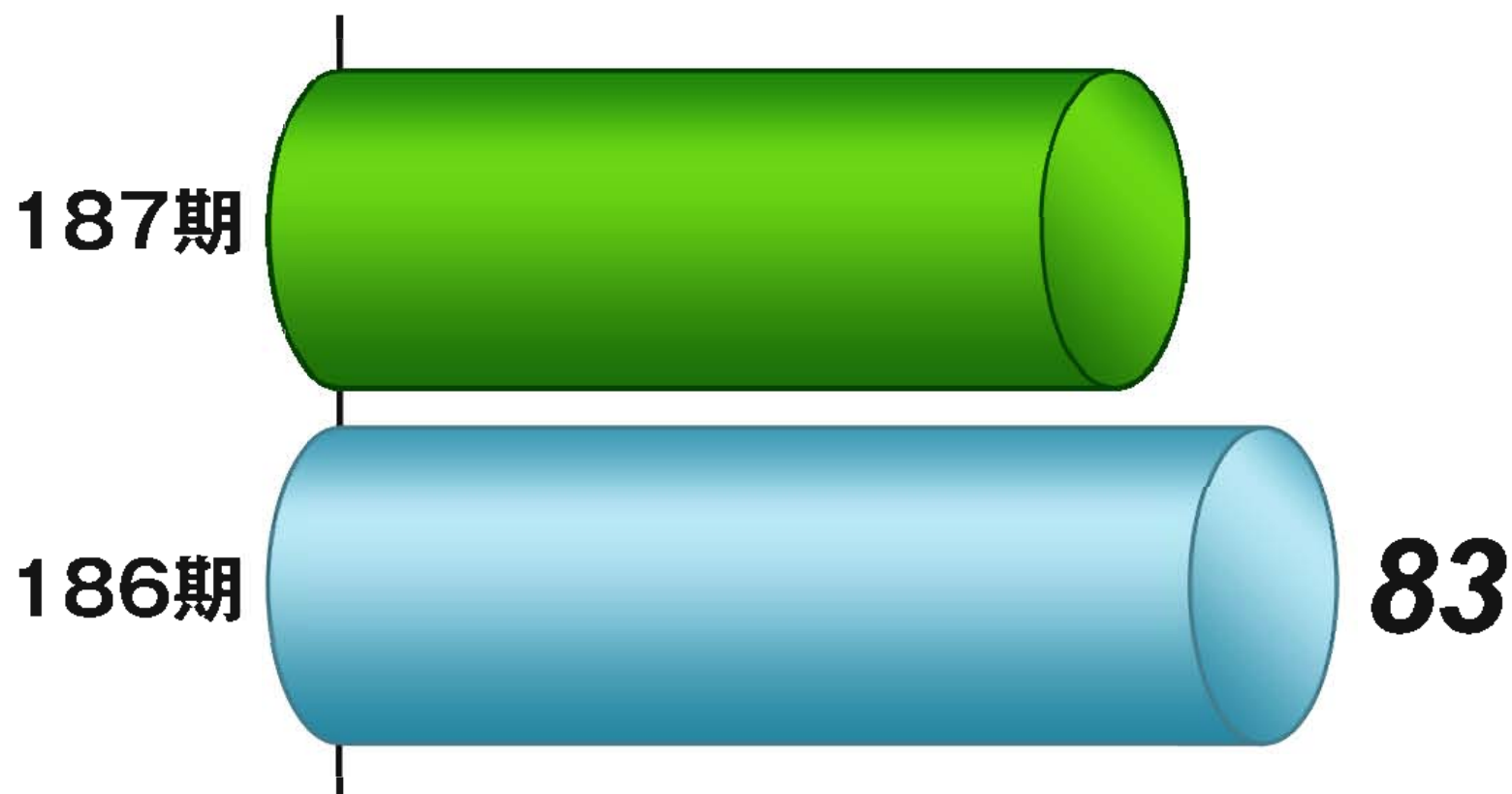


(億円未満切捨表示)

油圧機器事業

単位:億円

営業利益

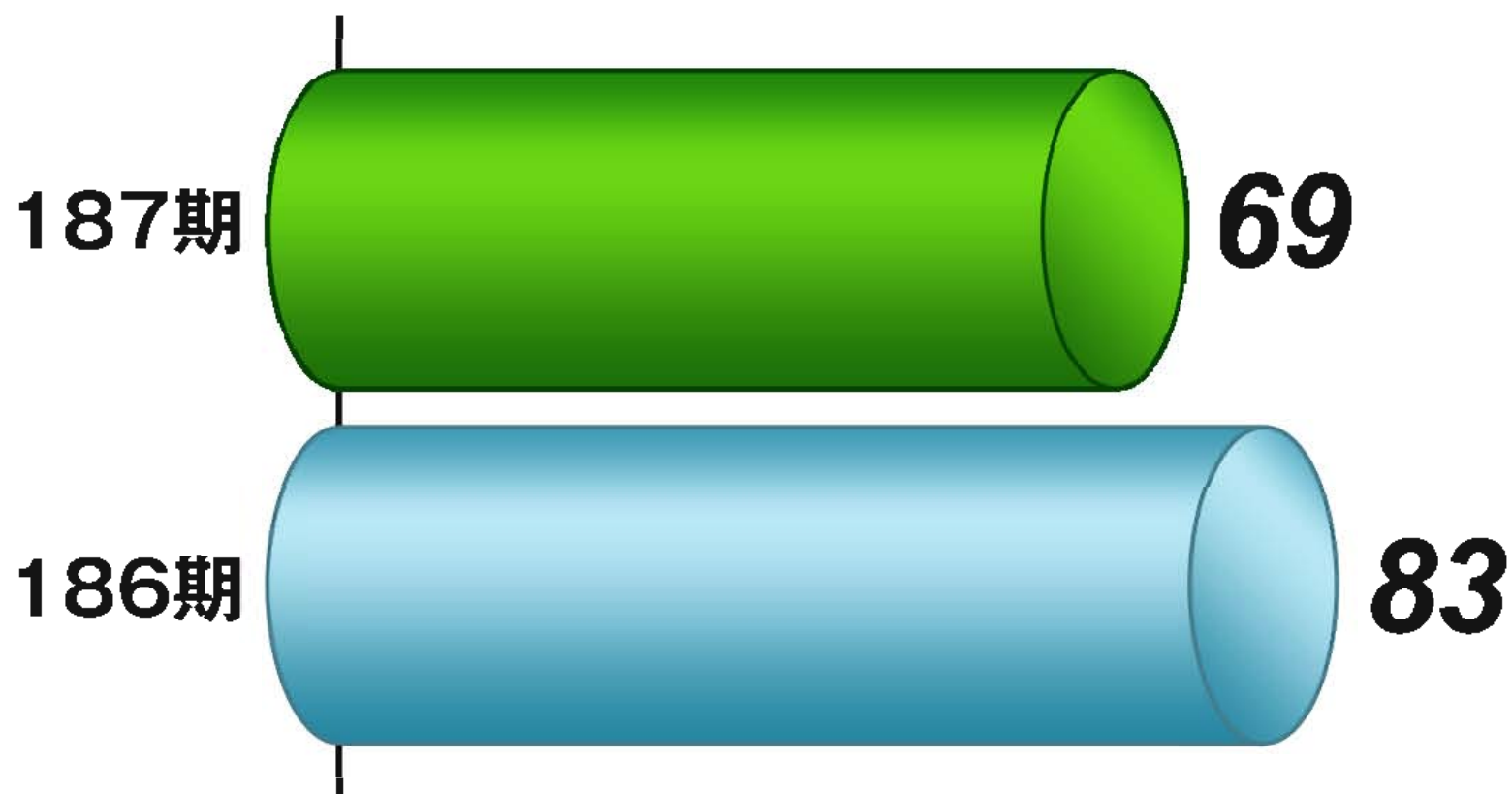


(億円未満切捨表示)

油圧機器事業

単位:億円

営業利益



(億円未満切捨表示)

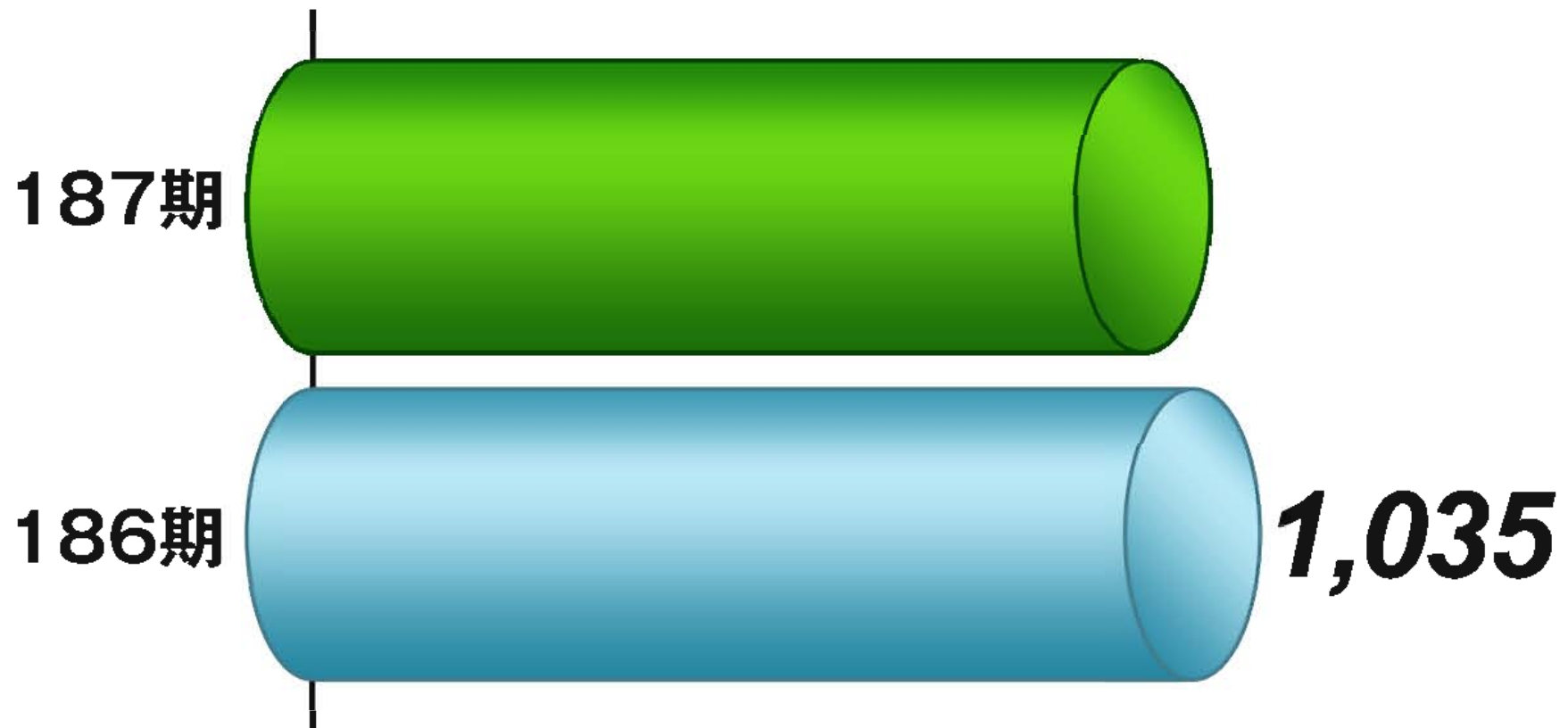
その他の事業



その他の事業

単位:億円

売上高合計

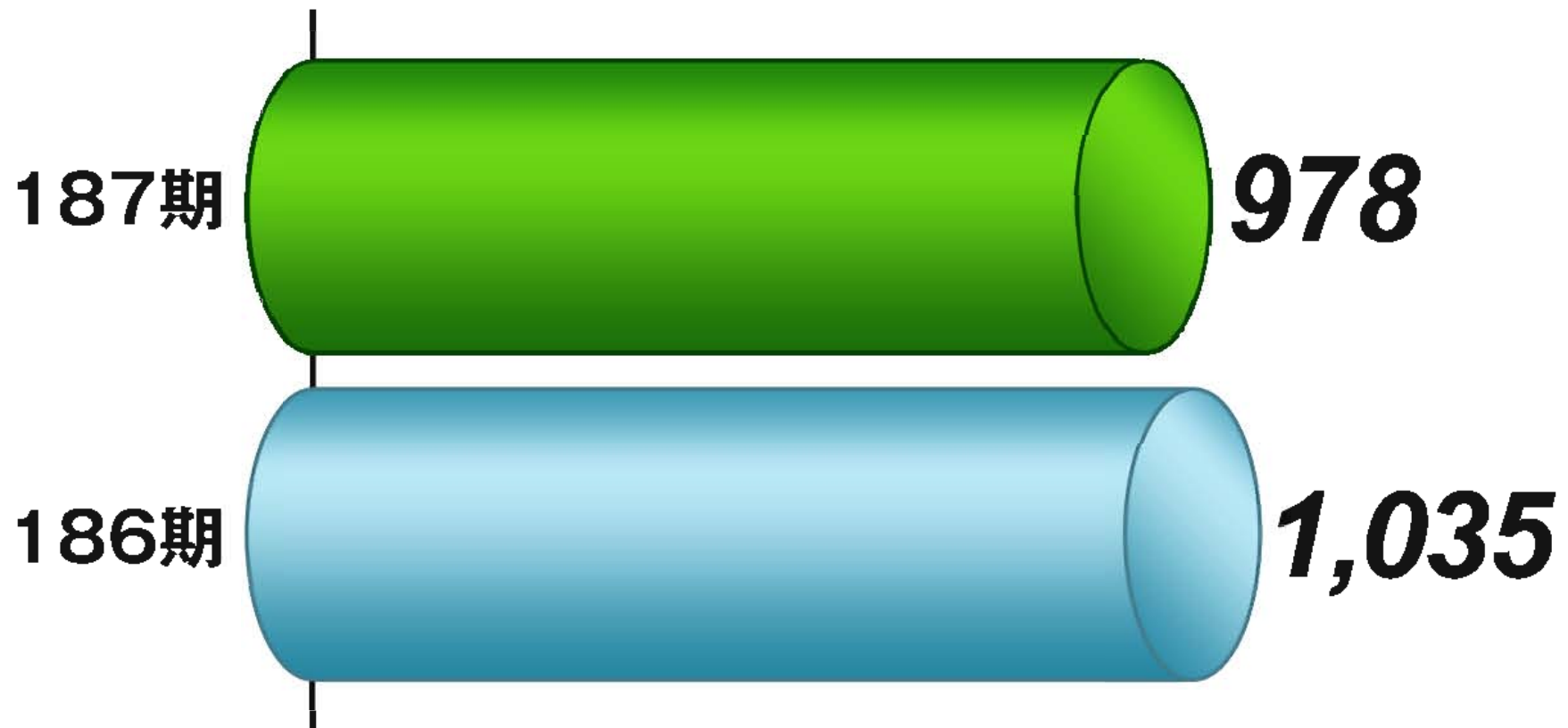


(億円未満切捨表示)

その他の事業

単位:億円

売上高合計



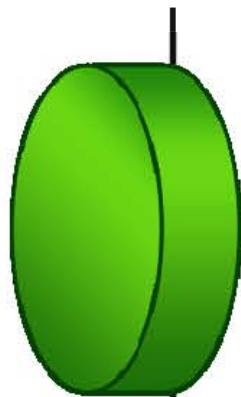
(億円未満切捨表示)

その他の事業

単位:億円

営業損益

187期



186期

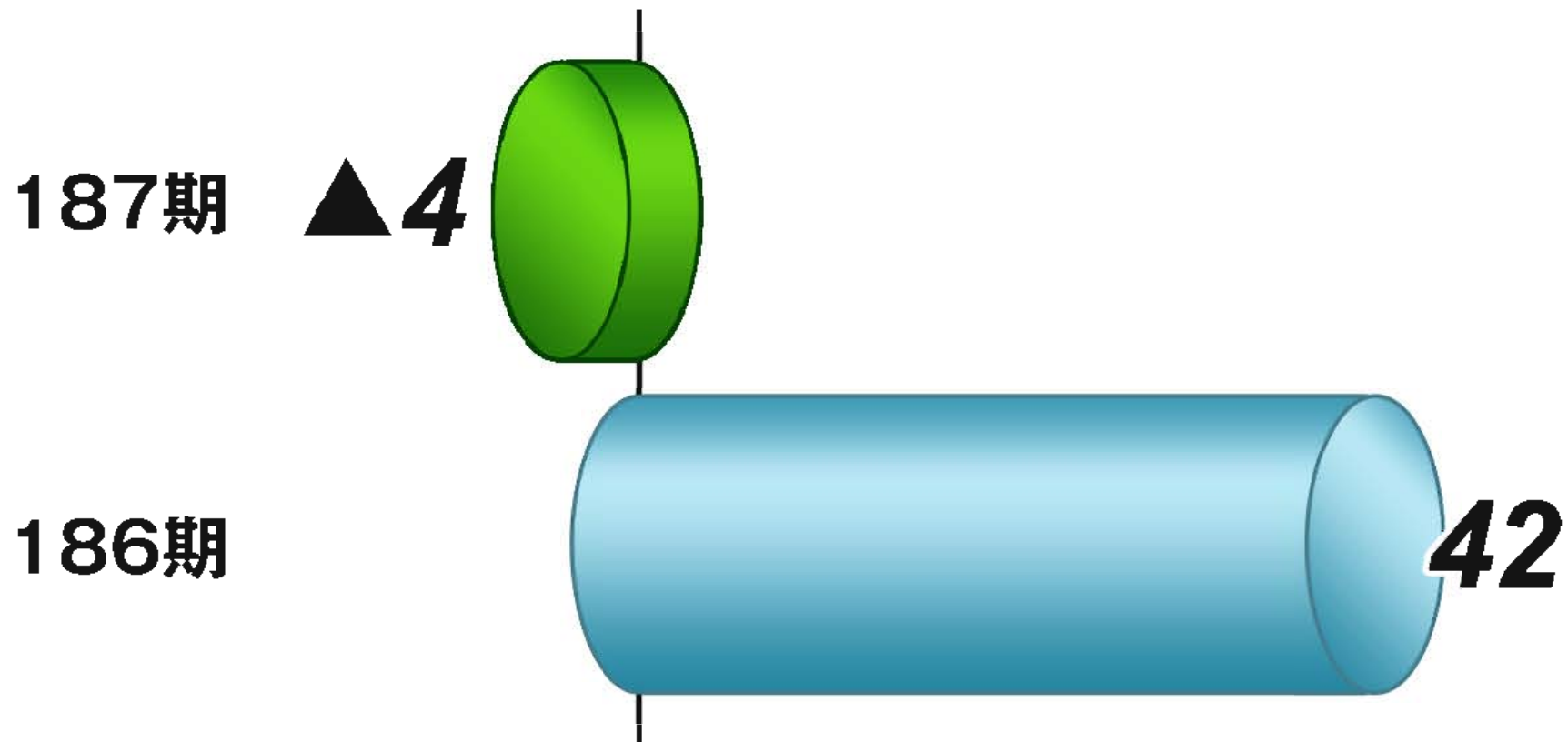


(億円未満切捨表示)

その他の事業

単位:億円

営業損益



(億円未満切捨表示)

設備投資及び 資金調達の状況

設備投資の状況

- 老朽化更新及び生産合理化のための設備
- 新機種・新製品対応のための設備

設備投資の状況

- 老朽化更新及び生産合理化のための設備
- 新機種・新製品対応のための設備



設備投資総額 592億円

資金調達状況

- 長期借入金 747億円
- 国内無担保普通社債 200億円など

資金調達状況

- 長期借入金 747億円
- 国内無担保普通社債 200億円など



社債の償還、長期借入金の約定弁済、
設備資金、運転資金等に充当

資金調達の状況

本年6月21日を払い込み期日とする
国内無担保普通社債200億円を発行

**「事業の譲渡、吸収分割又は新設分割
の状況」以下の事項は、招集ご通知6頁
以降に記載**

連結貸借対照表

連結貸借対照表：資産

単位：億円

	187期	186期	増減額
流動資産	9,316	9,957	▲641
固定資産	4,207	4,039	167
資産合計	13,524	13,997	▲473

(億円未満切捨表示)

連結貸借対照表：負債

単位：億円

	187期	186期	増減額
流動負債	6,929	8,300	▲1,370
固定負債	3,764	2,745	1,019
負債合計	10,693	11,045	▲351

(億円未満切捨表示)

連結貸借対照表：純資産

単位:億円

	187期	186期	増減額
資本金	1,043	1,043	0
資本剰余金	542	542	▲0
利益剰余金	1,376	1,542	▲165
少数株主持分	59	48	11
その他	▲192	▲224	32
純資産合計	2,830	2,952	▲121

(億円未満切捨表示)

連結損益計算書

連結損益計算書

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	11,734	13,385	▲1,651
営業利益又は損失	▲13	287	▲300
経常利益	142	387	▲244
特別利益	15	5	9
特別損失	▲196	▲156	▲39
当期純利益又は純損失	▲108	117	▲225

(億円未満切捨表示)

連結損益計算書

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	11,734	13,385	▲1,651
営業利益又は損失	▲13	287	▲300
経常利益	142	387	▲244
特別利益	15	5	9
特別損失	▲196	▲156	▲39
当期純利益又は純損失	▲108	117	▲225

(億円未満切捨表示)

連結損益計算書

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	11,734	13,385	▲1,651
営業利益又は損失	▲13	287	▲300
経常利益	142	387	▲244
特別利益	15	5	9
特別損失	▲196	▲156	▲39
当期純利益又は純損失	▲108	117	▲225

(億円未満切捨表示)

連結損益計算書

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	11,734	13,385	▲1,651
営業利益又は損失	▲13	287	▲300
経常利益	142	387	▲244
特別利益	15	5	9
特別損失	▲196	▲156	▲39
当期純利益又は純損失	▲108	117	▲225

(億円未満切捨表示)

連結損益計算書

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	11,734	13,385	▲1,651
営業利益又は損失	▲13	287	▲300
経常利益	142	387	▲244
特別利益	15	5	9
特別損失	▲196	▲156	▲39
当期純利益又は純損失	▲108	117	▲225

(億円未満切捨表示)

連結損益計算書

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	11,734	13,385	▲1,651
営業利益又は損失	▲13	287	▲300
経常利益	142	387	▲244
特別利益	15	5	9
特別損失	▲196	▲156	▲39
当期純利益又は純損失	▲108	117	▲225

(億円未満切捨表示)

連結株主資本等変動計算書

単位:億円

	株主資本 合計	評価・換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産 合計
平成21年3月31日残高	3,124	▲219	48	2,952
当連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当	▲50	—	—	▲50
当期純損失	▲108	—	—	▲108
その他	▲8	—	—	▲8
株主資本以外の項目の当連結 会計年度中の変動額(純額)	—	33	11	44
当連結会計年度中の変動額合計	▲166	33	11	▲121
平成22年3月31日残高	2,957	▲186	59	2,830

(億円未満切捨表示)

連結株主資本等変動計算書

単位:億円

	株主資本 合計	評価・換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産 合計
平成21年3月31日残高	3,124	▲219	48	2,952
当連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当	▲50	—	—	▲50
当期純損失	▲108	—	—	▲108
その他	▲8	—	—	▲8
株主資本以外の項目の当連結 会計年度中の変動額(純額)	—	33	11	44
当連結会計年度中の変動額合計	▲166	33	11	▲121
平成22年3月31日残高	2,957	▲186	59	2,830

(億円未満切捨表示)

連結株主資本等変動計算書

単位:億円

	株主資本 合計	評価・換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産 合計
平成21年3月31日残高	3,124	▲219	48	2,952
当連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当	▲50	—	—	▲50
当期純損失	▲108	—	—	▲108
その他	▲8	—	—	▲8
株主資本以外の項目の当連結 会計年度中の変動額(純額)	—	33	11	44
当連結会計年度中の変動額合計	▲166	33	11	▲121
平成22年3月31日残高	2,957	▲186	59	2,830

(億円未満切捨表示)

貸借対照表 (单独)

貸借対照表 (単独) : 資産

単位:億円

	187期	186期	増減額
流動資産	6,171	6,529	▲357
固定資産	3,592	3,250	342
資産合計	9,764	9,779	▲15

(億円未満切捨表示)

貸借対照表 (単独) : 負債

単位:億円

	187期	186期	増減額
流動負債	4,535	5,464	▲929
固定負債	3,021	2,007	1,014
負債合計	7,557	7,471	85

(億円未満切捨表示)

貸借対照表 (単独) : 純資産

単位:億円

	187期	186期	増減額
資本金	1,043	1,043	0
資本剰余金	520	520	▲0
利益剰余金	598	703	▲104
自己株式	▲5	▲4	▲0
評価・換算差額等	49	45	4
純資産合計	2,207	2,307	▲100

(億円未満切捨表示)

損益計算書 (单独)

損益計算書 (単独)

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	6,441	7,714	▲1,272
営業損失	▲189	▲120	▲69
経常利益	86	26	60
特別利益	15	—	15
特別損失	▲219	▲157	▲61
当期純損失	▲54	▲61	6

(億円未満切捨表示)

損益計算書 (単独)

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	6,441	7,714	▲1,272
営業損失	▲189	▲120	▲69
経常利益	86	26	60
特別利益	15	—	15
特別損失	▲219	▲157	▲61
当期純損失	▲54	▲61	6

(億円未満切捨表示)

損益計算書 (単独)

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	6,441	7,714	▲1,272
営業損失	▲189	▲120	▲69
経常利益	86	26	60
特別利益	15	—	15
特別損失	▲219	▲157	▲61
当期純損失	▲54	▲61	6

(億円未満切捨表示)

損益計算書 (単独)

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	6,441	7,714	▲1,272
営業損失	▲189	▲120	▲69
経常利益	86	26	60
特別利益	15	—	15
特別損失	▲219	▲157	▲61
当期純損失	▲54	▲61	6

(億円未満切捨表示)

損益計算書 (単独)

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	6,441	7,714	▲1,272
営業損失	▲189	▲120	▲69
経常利益	86	26	60
特別利益	15	—	15
特別損失	▲219	▲157	▲61
当期純損失	▲54	▲61	6

(億円未満切捨表示)

損益計算書 (単独)

単位:億円

	187期	186期	増減額
売上高	6,441	7,714	▲1,272
営業損失	▲189	▲120	▲69
経常利益	86	26	60
特別利益	15	—	15
特別損失	▲219	▲157	▲61
当期純損失	▲54	▲61	6

(億円未満切捨表示)

株主資本等変動計算書

単位:億円

	株主資本 合計	評価・換算 差額等合計	純資産 合計
平成21年3月31日残高	2,262	45	2,307
当期中の変動額			
剰余金の配当	▲50	—	▲50
当期純損失	▲54	—	▲54
その他	▲0	—	▲0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	4	4
当期中の変動額合計	▲105	4	▲100
平成22年3月31日残高	2,157	49	2,207

(億円未満切捨表示)

株主資本等変動計算書

単位:億円

	株主資本 合計	評価・換算 差額等合計	純資産 合計
平成21年3月31日残高	2,262	45	2,307
当期中の変動額			
剰余金の配当	▲50	—	▲50
当期純損失	▲54	—	▲54
その他	▲0	—	▲0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	4	4
当期中の変動額合計	▲105	4	▲100
平成22年3月31日残高	2,157	49	2,207

(億円未満切捨表示)

株主資本等変動計算書

単位:億円

	株主資本 合計	評価・換算 差額等合計	純資産 合計
平成21年3月31日残高	2,262	45	2,307
当期中の変動額			
剰余金の配当	▲50	—	▲50
当期純損失	▲54	—	▲54
その他	▲0	—	▲0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	4	4
当期中の変動額合計	▲105	4	▲100
平成22年3月31日残高	2,157	49	2,207

(億円未満切捨表示)

会社が対処すべき課題

特別損失

第187期の特別損失: 196億円

うち、事業構造改善費用76億円

特別損失

第187期の特別損失: 196億円

うち、事業構造改善費用76億円



汎用機事業

- ・過剰在庫の解消
- ・米国連結子会社での固定費削減

対処すべき課題

対処すべき課題

量産型事業：適正水準を超えた固定費が
足枷となり業績が悪化

受注型事業：新規受注案件が急速に減少

対処すべき課題

量産型事業：適正水準を超えた固定費が
足枷となり業績が悪化

受注型事業：新規受注案件が急速に減少



経営環境は引き続き厳しい

対処すべき課題

エネルギー・環境分野
への世界的な関心

 Kawasaki

グローバルレベルでの
多極化

対処すべき課題

当社グループの課題

量産型事業

- 在庫水準の適正化
- 市場規模に見合った固定費水準
- 限界利益率の向上

受注型事業

- 大型量産プロジェクトの収益性の向上
- 予見される損失リスクに速やかに対処

対処すべき課題

中期経営計画（2010～2012年度）

—「Kawasaki 事業ビジョン 2020」の達成を目指して—

対処すべき課題

中計 2010

計画期間を従来の5年から3年に短縮

対処すべき課題

中計 2010

① グループ全体において収益力を強化

- 量産型事業では、損益分岐点を常に意識し、固定費削減に取り組み
- 受注型事業では、採算性を重視し、リスクマネジメントを徹底



2008年度前半までの成長軌道への再復帰

対処すべき課題

中計 2010

② 将来の成長に向けた基盤を整備

- 新製品・新事業の育成
- 既存製品の高度化



研究開発は積極的に実施
新興国への海外事業展開を加速

対処すべき課題

中計 2010 (数量目標)

2012年度

連結売上高 1兆4,000億円 経常利益 560億円

配当方針

業績に見合った配当を安定的に継続すると共に、中長期的な連結配当性向の基準を30%に設定

対処すべき課題

『中期経営計画(2010~2012年度)』・
『Kawasaki 事業ビジョン 2020』の関係図



対処すべき課題

Kawasaki 事業ビジョン 2020

グループミッション

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する
"Global Kawasaki"

3つの主要事業分野において、高度な技術力により
世界の人々の多様なニーズに適った製品・サービスを提供する企業。

輸送システム

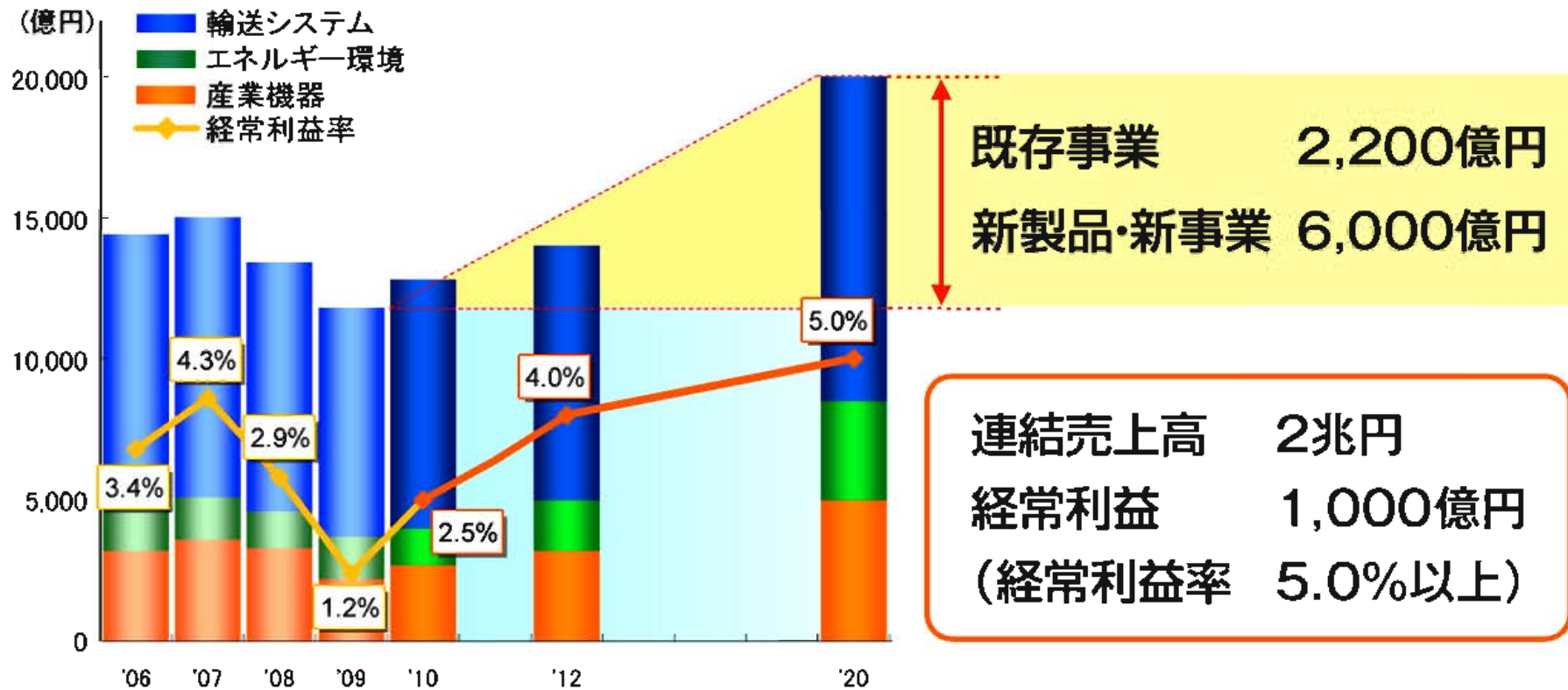
エネルギー環境

産業機器

対処すべき課題

数量ビジョン(2020年度連結)

事業分野別の売上高推移



対処すべき課題

対処すべき課題

事業名称の変更

2010年4月より、ロボット部門を「汎用機事業」から「油圧機器事業」に組み替え

「汎用機事業」 → 「モーターサイクル
&エンジン事業」

「油圧機器事業」 → 「精密機械事業」

対処すべき課題

船舶事業

- ・中国事業における競争力維持
- ・エンジニアリング・最先端技術開発センターとしての国内工場の役割強化



対処すべき課題

車両事業

- ・北米を中心とした海外案件の収益確保
- ・海外システム案件、低コスト車両、高速車両などに対応するためのプロジェクトマネジメント力の強化



対処すべき課題

航空宇宙事業

- ・次期固定翼哨戒機・次期輸送機の量産対応
- ・ボーイング787量産対応などの大型プロジェクトの推進



対処すべき課題

ガスタービン・機械事業

- ・民需航空機用ジェットエンジンの新機種開発の推進
- ・産業用ガスタービン・高効率ガスエンジンなどの新製品・新機種開発の推進によるエネルギー・環境分野の強化
- ・全般にわたる生産性向上による競争力強化



対処すべき課題

プラント・環境事業

- ・エネルギー・環境分野の伸張に向けた研究開発の強化
- ・新製品、新事業の事業化のスピードアップ



対処すべき課題

モーターサイクル&エンジン事業

- ・先進国向けモーターサイクルに関する在庫水準適正化
- ・損益分岐点の引き下げ
- ・アジア、ブラジルでの拡販
- ・インド市場への進出
- ・環境対応のための先行技術開発



対処すべき課題

精密機械事業

- ・建設機械用製品の安定収益確保
- ・他の事業分野への拡大
- ・ロボットにおけるシステム
対応力の強化



対処すべき課題

その他の事業

建設機械部門について、日立建機株式会社との
事業提携による開発・販売力の強化



対処すべき課題

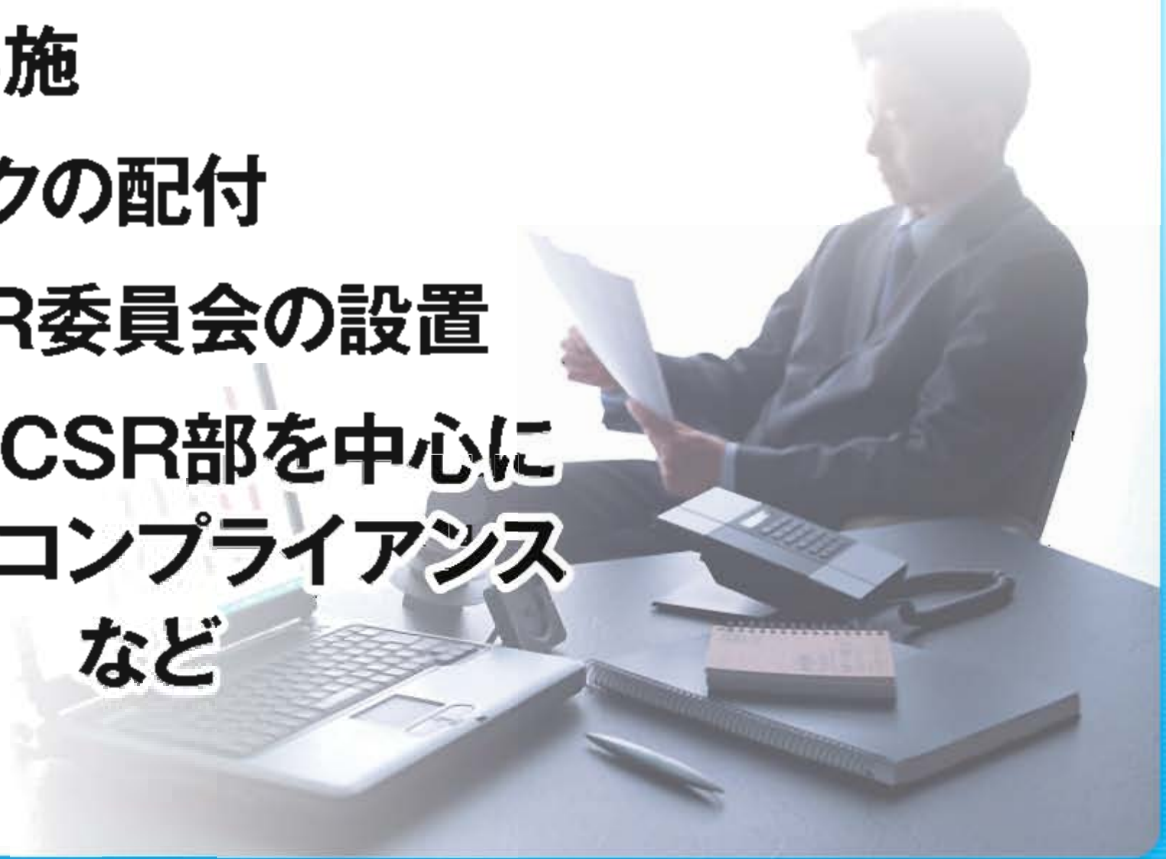
コンプライアンス(法令遵守)



対処すべき課題

コンプライアンス(法令遵守)

- ・企業倫理に関する社内規則を整備
- ・階層別教育の実施
- ・各種ガイドブックの配付
- ・各組織でのCSR委員会の設置
- ・総括組織であるCSR部を中心に各事業部門にもコンプライアンス担当部門を設置 など



対処すべき課題

コンプライアンス(法令遵守)

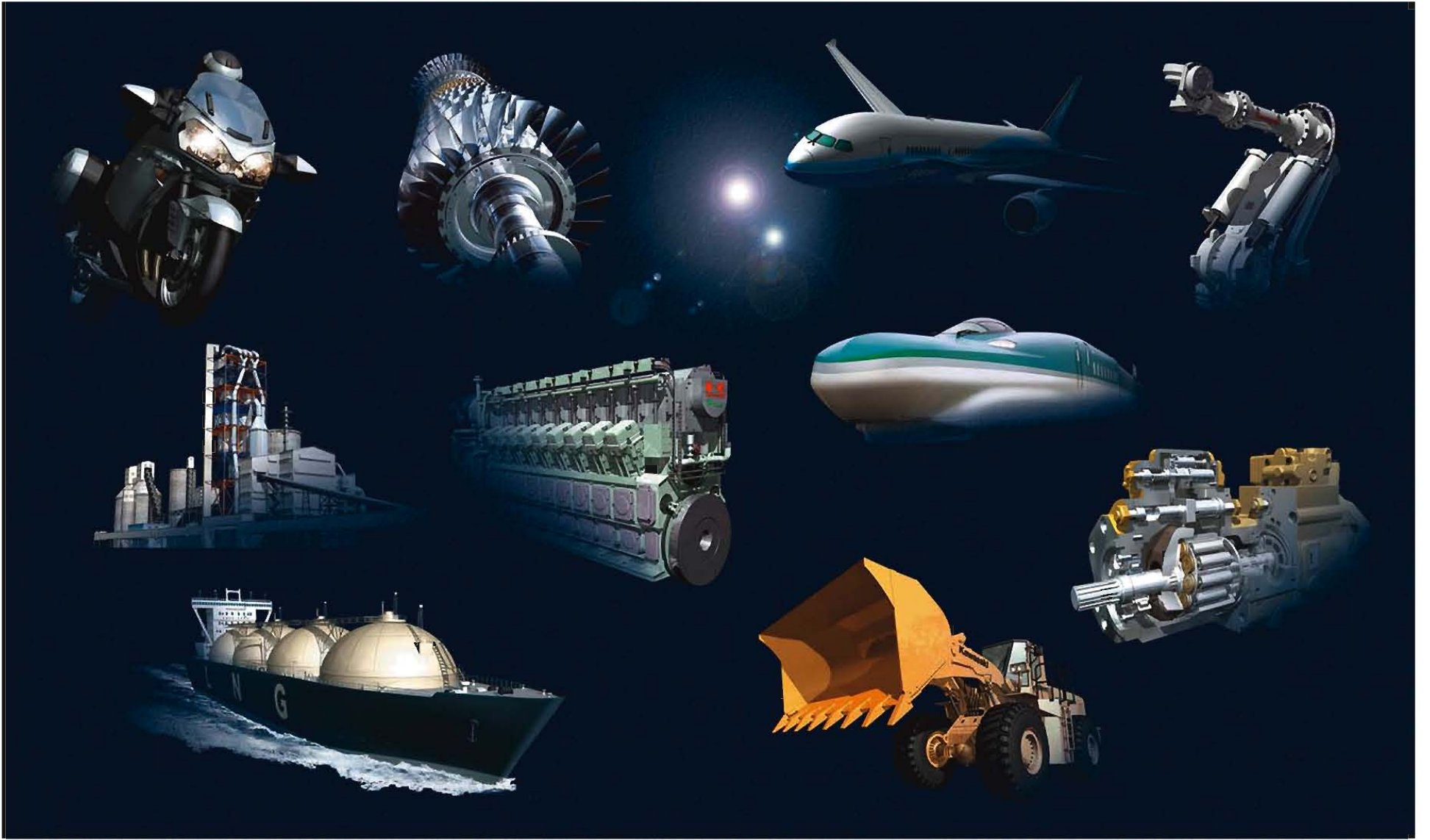
- ▶ **コンプライアンスの徹底に組織的に取り組む**
- ▶ **常に情報開示と透明性を最優先する企業風土の確立**



- **事業全般にわたって収益力を強化**
- **コンプライアンスの徹底による
企業価値の向上**
- **信頼感のあるカワサキブランドの
確立**

今後ともより一層のご支援とご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

川崎重工業株式会社



 **Kawasaki**

第187期定時株主総会

目的事項

- 報告事項
1. 第187期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第187期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）計算書類報告の件
- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役12名選任の件
- 第3号議案 補欠監査役1名選任の件

平成22年6月25日

川崎重工業株式会社